

東京基督教大学 神学部 総合神学科
2024 年度 学修の手引き（学士課程）

目 次

ページ

• 教育目標・ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー	1
• カリキュラムマップ	4
• 東京基督教大学 神学部規程（抜粋）	8
• 神学部教育課程(カリキュラム)の特徴	10
• 履修単位数	12
• 主専攻及び副専攻	13
• 科目コード	14
• カリキュラム構成と履修科目一覧表	15
教会教職（主）	17
グローバル・スタディーズ（主・副）	18
ユース・スタディーズ（主・副）	19
キリスト教福祉（主・副）	20
神学教養（主）	21
Japanese Studies（副）	22
教会音楽（副）	24
• 社会福祉主事任用資格	25
• 教務部案内	26
• 授業	27
学期、授業時間、時間割、授業欠席、休講、補講、聴講、教科書、教室の設備、 中教室Ⅰの利用、学生による授業評価	
• 履修登録	30
履修計画、履修登録の流れ、履修取消、履修停止、履修制限、インディペンデントスタディ	
• 試験と成績	33
試験の種類、追試験、成績、成績の公開、成績調査願、GPA(Grade Point Average)、 特別表彰、学習支援、再履修	
• 単位	37
単位制度と科目の種類、単位の基準	
• 卒業要件と学籍	38
修業年限と在学期間、卒業要件、早期卒業、学位、進級と専攻選択、留年、 休学、復学、退学・除籍、再入学	
• 器楽等レッスンの履修	41
受講資格・注意事項、レッスン時間、レッスン料、レッスン場所、 学期中の練習、履修登録など	
• 単位認定	43
入学前の既修得単位の認定 言語科目の単位認定	
• 留学制度	45
TCU-Biola ダブルディグリー制度 短期交換留学制度	

東京基督教大学 神学部
教育目標・ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー

I. 教育目標

東京基督教大学は、プロテスタント福音主義の理念に基づいたキリスト教世界観と召命観を持ち、教派を超えて教会と社会で、世界宣教の志を持って神と人に仕えるクリスチャンを養成することを教育の目標としています。そのために必要な人格と幅広い教養、神学に関する専門的な知識、主体的に考え行動する力の涵養に努めます。

II. ディプロマポリシー

東京基督教大学では、所定の期間在学し、本学の「教育目標」に沿って設定された授業科目を履修して、基準となる単位を修得し、卒業判定に合格することが学位授与の要件となっています。学生のために準備された学びには、講義科目のほか、演習や実習、卒業研究等の科目に加え、寮教育や卒業チャペルでのスピーチが含まれます。

以下の基準を満たしている者に学位が授与されます。

- 1 プロテスタント福音主義の意義を主体的に把握している。
- 2 東京基督教大学の超教派の理念を肯定的に理解している。
- 3 修得科目にふさわしい神学の知識とその応用力を身につけている。
- 4 クリスチャンとして人と社会に仕える姿勢 および幅広い教養と その 実践力を備えている。
- 5 神と教会に仕える情熱と、そのために必要な知見を備えている。

III. カリキュラムポリシー

東京基督教大学では、「建学の精神」および「理念とミッション」に基づく「ディプロマポリシー」を達成するために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を提供し、学修成果をどのように評価するのかを、「カリキュラムポリシー」として以下のように定めています。この「カリキュラムポリシー」を通して、福音的な聖書理解と幅広い神学的知識、さらには情熱を持って神と人に仕えるための実践力を身につけたクリスチャンを育成することを目指します。（文末カッコ内は、東京基督教大学の「ディプロマポリシー：DP」に対応する番号です。）

[1] 科目の提供

- a. プロテスタント福音主義と超教派の理念に基づき、聖書神学、組織神学、歴史神学、実践神学の伝統的で幅広い神学の学びの機会を提供します。（DP-1,2）
- b. 人間と社会を理解するために必要な教養教育科目を提供します。（DP-2,4）
- c. クリスチャンとして広く社会で活躍する人を育成するため、日本語と英語の両方で学ぶことのできるカリキュラムを提供します。（DP-4）
- d. 異文化と他者への理解をもって神と人に仕える実践力を身につけたクリスチャンを育成するため、実践神学、グローバル・スタディーズ、ユース・スタディーズ、キリスト教福祉等の科目群を設けます。（DP-1,3,4）

- e.初年次の学生には、大学における学びに備えるための基礎的な学力の充実を主眼とする科目や、神学を概観できる科目に加え、大学という学習共同体の一体感や、キリスト教世界観を形成するために必要な実践的な学びの機会を提供します。(DP-1,2,3,5)

[2] 科目の編成

- a. 学生の主体的な履修を励ますため、基礎学力の向上から専門的知識の修得までを可能にする科目を、科目番号を用いて体系的にわかりやすく配置します。(DP-1,2,3)
- b. 学生が自らの興味や将来の目標に沿った学びを進めることができるように、幅広い神学科目の中から、より明確な将来像と結びついた複数の専攻（履修モデル）と副専攻を提供し、具体的な進路選択を促します。提供される専攻は以下のとおりです。教会教職、グローバル・スタディーズ、ユース・スタディーズ、キリスト教福祉、神学教養 (DP-4,5)
- c. 科目ごとに授業の目標、内容、教育方法、評価方法を明記したシラバスを作成して学生に提供します。また「カリキュラムポリシー」を具体化し、可視化して共有するための「カリキュラムマップ」を学生と教職員に提供し、カリキュラムに関する大学全体の共通理解と連携を図ります。(DP-3)
- d. 毎学期後に実施される学生による授業評価を用い、より効果的な科目配置や、授業内容の改善を実施します。(DP-3)

[3] 学修の方法と評価

- a. 学生と教員の距離を縮め、より能動的な学修参加を促すため、少人数クラスの編成を基本とし、講義、演習（ゼミ）、実習（インターンシップ）、実技、卒業研究等の多様な学びの機会を提供します。(DP-3,4,5)
- b. 学生の能動的な学修参加と、他者との協働を促すため、授業の中で小グループ・ディスカッションや学生発表等のアクティブラーニングの諸方法を用いた学修の機会を提供します。(DP-3,4,5)
- c. 社会と教会に仕える実践力や協働力を身につけたクリスチャンを育成するため、チャペル礼拝¹出席及び地域教会での礼拝出席を必修とし、さらに寮教育の機会を提供します。(DP-4,5)
- d. 卒業判定につながる学修成果の評価には、通常の科目成績評価に加え、学生の自己評価や教員との面談を含む複数の他者評価が総合的に用いられます。(DP-1,2,4,5)

「カリキュラムポリシー（CP）」の履行

- ・学部科目やその内容に加え、その他の教育的プログラムや学生を対象とした企画等に関する文章には、根拠となる「カリキュラムポリシー」の記号（例：CP-1a、CP-3c）を併記し、本ポリシーの着実な履行を目指します。
- ・教職員は、本学の「教育のPDCAサイクル」を念頭に、自らの営みを「カリキュラムポリシー」や「ディプロマポリシー」と照らし合わせて常に確認し、必要な改善を継続的に実施します。

¹ チャペル礼拝とは、火曜日から金曜日に、大学チャペルでもたれる、全学生出席の礼拝のことです。

「学生自己評価書」「卒業自己評価書」

- 「学生自己評価書」「卒業自己評価書」は、学修成果の目標としてのディプロマポリシー(学位授与方針)を理解し、定められた資質や能力がどれくらい身についたかを自己評価するための評価書です。毎年度末に振り返りを行い、最終学年では卒業判定の一部として用いられます。
- 卒業予定者は「卒業自己評価書」に基づき、担任学科・専攻の教員による個別面談を行います。

東京基督教大学 神学部 総合神学科
カリキュラムマップⅠ（ディプロマポリシーと科目の関係）

建学の精神	1. 福音主義 2. 超教派 3. 実践的神学教育 4. 世界宣教
教育目標	東京基督教大学は、プロテスタント福音主義の理念に基づいたキリスト教世界観と召命観を持ち、教派を超えて教会と社会で、世界宣教の志を持って神と人に仕えるクリスチャンを養成することを教育の目標としています。そのために必要な人格と幅広い教養、神学に関する専門的な知識、主体的に考え行動する力の涵養に努めます。
ディプロマポリシー	東京基督教大学では、所定の期間在学し、本学の「教育目標」に沿って設定された授業科目を履修して、基準となる単位を修得し、卒業判定に合格することが学位授与の要件となっています。学生のために準備された学びには、講義科目のほか、演習や実習、卒業研究等の科目に加え、寮教育や卒業チャペルでのスピーチが含まれます。 以下の基準を満たしている者に学位が授与されます。
	DP1：プロテスタント福音主義の意義を主体的に把握している。 DP2：東京基督教大学の超教派の理念を肯定的に理解している。 DP3：修得科目にふさわしい神学の知識とその応用力を身につけている。 DP4：クリスチャンとして人と社会に仕える姿勢および幅広い教養とその実践力を備えている。 DP5：神と教会に仕える情熱と、そのために必要な知見を備えている。

科目区分	科目コード	科目名	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
TCU Core TCU Core	CTS110-130J	TCUスタンダードⅠ 2 3	◎	◎		◎	◎
	CCW110J	キリストと世界Ⅰ（神学）	◎	○			
	CCW120J	キリストと世界Ⅱ（旧約）	○	○			
	CCW130J	キリストと世界Ⅲ（新約）	○	○			
	CSD100J	霊的形成		○		◎	○
	CCF100J	クリスチャンライフ・フォーメーションⅠ	○	○		○	○
	CCF200J	クリスチャンライフ・フォーメーションⅡ	○	○		○	○
	CCF300J	クリスチャンライフ・フォーメーションⅢ	○	○		○	○
	CCF400J	クリスチャンライフ・フォーメーションⅣ	○	○	○	○	○
	CTS110-130E	TCU StandardⅠ 2 3	◎	◎		◎	◎
	CCW110E	Christ and the World I: Issues Facing the Church Today	◎	○			
	CCW120E	Christ and the World II: Issues Facing the Church through Time	○	○			
	CCW130E	Christ and the World III: Issues Facing Ancient Israel and the Early Church	○	○			
	CSD100E	Spiritual Development				○	
	CCF100E	Christian Life FormationⅠ	○	○		○	○
	CCF200E	Christian Life FormationⅡ	○	○		○	○
	CCF300E	Christian Life FormationⅢ	○	○		○	○
	CCF400E	Christian Life FormationⅣ	○	○	○	○	○
Christian Liberal Arts キリスト教リベラルアーツ	First Year Education 初年次教育	RFY111-113J	基礎演習 A B C			○	
		RFY120J	情報リテラシー			○	
		RFY130J	キャリア教育			○	
		RFY110E	Academic Research and Writing			○	
	Humanities 人文学	RHU110J	人文学Ⅰ（文学）		○	○	
		RHU120J	人文学Ⅱ（西洋思想）			○	
		RHU230J	人文学Ⅲ（東洋思想）			○	○
		RHU240J	人文学Ⅳ（キリスト教倫理）			○	
		RHU350J	人文学Ⅴ（キリスト教哲学）	○		○	
		RHU210E	Humanities I: Survey of Western Philosophy			○	
		RHU220E	Humanities II: Christian Ethics		○	○	
	Social Sciences 社会科学	RSS110J	社会科学Ⅰ（保育学）			○	
		RSS120J	社会科学Ⅱ（女性と社会）			○	
		RSS230J	社会科学Ⅲ（心理学Ⅰ）			○	○
		RSS240J	社会科学Ⅳ（心理学Ⅱ）			○	○
		RSS350J	社会科学Ⅴ（言語学）			○	○
		RSS210E	Social Sciences I: General Psychology			○	○
		RSS220E	Social Sciences II: Christian Education		○	○	
	Great Books グレートブックス	RGB110E	Great Books I: Western Philosophy			○	
		RGB120E	Great Books II: Japanese Literature			○	
		RGB230E	Great Books III: World Literature			○	
		RGB240E	Great Books IV: Social Sciences			○	
		RGB250E	Great Books V: Natural Sciences			○	
		RGB360E	Great Books VI: Sacred Books of the East			○	
		RGB370E	Great Books VII: Christian Classics			○	
	Church Music 教会音楽	RCM110J	教会音楽Ⅰ（ミュージックミニストリー）		○	○	○
		RCM220J	教会音楽Ⅱ（教会音楽の歴史）		○	○	○
		RCM330J	教会音楽Ⅲ（教会音楽の実践）			○	○
		RCM140J-	教会音楽Ⅳ（クワイアⅠ～Ⅳ）				○
		RCM150J-	教会音楽Ⅴ（オルガンレッスンⅠ～Ⅳ）			○	○
		RCM160J-	教会音楽Ⅵ（ピアノレッスンⅠ～Ⅳ）			○	○
		RCM170J-	教会音楽Ⅶ（声楽レッスンⅠ～Ⅳ）			○	○
		RCM180J-	教会音楽Ⅷ（ギターレッスンⅠ～Ⅳ）			○	○
	Sports Education スポーツ	RSL110J	スポーツ・リベラルアーツⅠ			○	
		RSL120J	スポーツ・リベラルアーツⅡ			○	

建学の精神	1. 福音主義 2. 超教派 3. 実践的神学教育 4. 世界宣教
教育目標	東京基督教大学は、プロテスタント福音主義の理念に基づいたキリスト教世界観と召命観を持ち、教派を超えて教会と社会で、世界宣教の志を持って神と人に仕えるクリスチャンを養成することを教育の目標としています。そのために必要な人格と幅広い教養、神学に関する専門的な知識、主体的に考え行動する力の涵養に努めます。
ディプロマポリシー	東京基督教大学では、所定の期間在学し、本学の「教育目標」に沿って設定された授業科目を履修して、基準となる単位を修得し、卒業判定に合格することが学位授与の要件となっています。学生のために準備された学びには、講義科目のほか、演習や実習、卒業研究等の科目に加え、寮教育や卒業チャペルでのスピーチが含まれます。 以下の基準を満たしている者に学位が授与されます。
	DP1：プロテスタント福音主義の意義を主体的に把握している。 DP2：東京基督教大学の超教派の理念を肯定的に理解している。 DP3：修得科目にふさわしい神学の知識とその応用力を身につけている。 DP4：クリスチャンとして人と社会に仕える姿勢および幅広い教養とその実践力を備えている。 DP5：神と教会に仕える情熱と、そのために必要な知見を備えている。

科目区分		科目コード	科目名	DPI	DP2	DP3	DP4	DP5
Languages	英語 English	LEN111-113J	Total English A 1-3				○	
		LEN121-123J	Total English B 1-3				○	
		LEN131-133J	Total English C 1-3				○	
		LEN250J	Pre-English Intensive Study Abroad				○	
		LEN260J	English Intensive Study Abroad				○	
	韓国語 Korean	LK0210J	韓国語 1（基礎）				○	
		LK0220J	韓国語 2（初級）				○	
		LK0330J	韓国語 3（中級）				○	
	中国語 Chinese	LZH210J	中国語 1（基礎と台湾文化入門）				○	
		LZH220J	中国語 2（初級）				○	
	日本語 Japanese	LJA110-130E	Elementary Japanese Language and Culture 1-3				○	
		LJA210-230E	Intermediate Japanese Language and Culture 1-3				○	
		LJA341-343E	Advanced Japanese Language and Culture 1-3				○	
		LJA361-363E	Japanese Extensive Reading and Listening 1-3				○	
		LJA281-283E	Mastering Kanji 1-3				○	
	ヘブライ語 Biblical Hebrew	LBH310J	ヘブライ語 1（文法1）	○		○		○
		LBH320J	ヘブライ語 2（文法2）	○		○		○
		LBH330J	ヘブライ語 3（文法3）	○		○		○
		LBH440J	ヘブライ語 4（講読1）	○		○		○
		LBH450J	ヘブライ語 5（講読2）	○		○		○
	ギリシア語 Biblical Greek	LBG310J	ギリシア語 1（文法1）	○		○		○
		LBG320J	ギリシア語 2（文法2）	○		○		○
		LBG330J	ギリシア語 3（文法3）	○		○		○
		LBG440J	ギリシア語 4（講読1）	○		○		○
		LBG450J	ギリシア語 5（講読2）	○		○		○
Specializations	聖書学 Biblical Studies	SBS210J	聖書学 I（旧約通論）		○	○		○
		SBS320J	聖書学 II（福音書）		○	○		○
		SBS330J	聖書学 III（モーセ五書）	○		○		○
		SBS340J	聖書学 IV（預言書・聖文書）	○		○		○
		SBS350J	聖書学 V（書簡）	○		○		○
		SBS210E	Biblical Studies I: Old Testament Survey		○	○		○
		SBS220E	Biblical Studies II: New Testament Survey		○	○		○
		SBS430E	Biblical Studies III: Approaches to Biblical Interpretation	○	○	○		○
		SBS440E	Biblical Studies IV: Topics in Biblical Theology	○		○		○
		SBS450E	Biblical Studies V: Selected Biblical Books	○		○		○
	組織神学・歴史神学 Christian History and Tradition	SCH210J	組織神学 I（神論・人間論・キリスト論）	○		○		○
		SCH220J	組織神学 II（救済論・教会論・終末論）	○		○		○
		SCH230J	歴史神学 I（古代・中世）			○		○
		SCH240J	歴史神学 II（宗教改革・近現代）	○		○		○
		SCH350J	歴史神学 III（旧約聖書史/考古学）			○		○
		SCH360J	歴史神学 IV（第二神殿時代史/考古学）			○		○
		SCH470J	歴史神学 V（信条学）	○		○		○
		SCH480J	歴史神学 VI（日本キリスト教通史）		○	○		○
		SCH310E	Christian History and Tradition I: Ancient and Medieval Church History			○		○
		SCH320E	Christian History and Tradition II: The Reformation and Modern Church History	○		○		○
		SCH330E	Christian History and Tradition III: The Heidelberg Catechism	○		○		○
		SCH340E	Christian History and Tradition IV: Science and Religion			○	○	○
		SCH450E	Christian History and Tradition V: Systematic Theology	○		○		○
		SCH460E	Christian History and Tradition VI: Japanese Church History		○	○		○
	実践神学 Practical Theology	SPT210J	実践神学 I（宣教学）			○	○	○
		SPT220J	実践神学 II（メッセージの方法と実践）			○	○	○
		SPT330J	実践神学 III（説教学）	○	○	○		○
		SPT440J	実践神学 IV（説教演習）			○		○
		SPT450J	実践神学 V（礼拝学）	○	○	○		○
		SPT460J	実践神学 VI（牧会学）			○	○	○
		SPT470J	実践神学 VII（牧会カウンセリング）			○	○	○
		SPT210E	Practical Theology I: Missiology			○	○	○
		SPT220E	Practical Theology II: Public Speaking			○	○	○
		SPT230E	Practical Theology III: Introduction to Christian Ministry in Japan		○	○		○
		SPT340E	Practical Theology IV: Clinical and Pastoral Psychology				○	○
		SPT350E	Practical Theology V: Christian Apologetics			○	○	○
		SPT360E	Practical Theology VI: Philosophy and Theology of Music			○	○	○

建学の精神	1. 福音主義 2. 超教派 3. 実践的神学教育 4. 世界宣教
教育目標	東京基督教大学は、プロテスタント福音主義の理念に基づいたキリスト教世界観と召命観を持ち、教派を超えて教会と社会で、世界宣教の志を持って神と人に仕えるクリスチャンを養成することを教育の目標としています。そのために必要な人格と幅広い教養、神学に関する専門的な知識、主体的に考え行動する力の涵養に努めます。
ディプロマポリシー	東京基督教大学では、所定の期間在学し、本学の「教育目標」に沿って設定された授業科目を履修して、基準となる単位を修得し、卒業判定に合格することが学位授与の要件となっています。学生のために準備された学びには、講義科目のほか、演習や実習、卒業研究等の科目に加え、寮教育や卒業チャペルでのスピーチが含まれます。 以下の基準を満たしている者に学位が授与されます。
	DP1：プロテスタント福音主義の意義を主体的に把握している。 DP2：東京基督教大学の超教派の理念を肯定的に理解している。 DP3：修得科目にふさわしい神学の知識とその応用力を身につけている。 DP4：クリスチャンとして人と社会に仕える姿勢および幅広い教養とその実践力を備えている。 DP5：神と教会に仕える情熱と、そのために必要な知見を備えている。

科目区分		科目コード	科目名	DPI	DP2	DP3	DP4	DP5
Specializations	Youth Studies ユース・スタディーズ	SYS210J	ユース・ミニストリー I（神学と実践）			○	○	○
		SYS320J	ユース・ミニストリー II（思春期の理解）			○	○	
		SYS230J	キリスト教教育 I（神学と理念）			○	○	
		SYS340J	キリスト教教育 II（方法と実践）			○	○	
	Christian Social Work キリスト教福祉	SCW201J	キリスト教福祉 I（介護福祉）				○	
		SCW202J	キリスト教福祉 II（キリスト教公共福祉論）			○	○	
		SCW203J	キリスト教福祉 III（人間の尊厳と自立）				○	
		SCW204J	キリスト教福祉 IV（人間関係とコミュニケーション）				○	
		SCW205J	キリスト教福祉 V（こころとからだのしくみ）				○	
		SCW306J	キリスト教福祉 VI（生活支援技術）				○	
		SCW307J	キリスト教福祉 VII（障がいの理解）				○	
		SCW308J	キリスト教福祉 VIII（社会福祉論）				○	
		SCW309J	キリスト教福祉 IX（対人援助と問題解決法）				○	
		SCW310J	キリスト教福祉 X（精神保健福祉論）				○	
	専門 Global Studies グローバル・スタディーズ	SGS101J	グローバル・スタディーズ I（異文化理解）				○	
		SGS101E	Global Studies I: Intercultural Communication				○	
		SGS202J	グローバル・スタディーズ II（グローバル・スタディーズ入門）				○	
		SGS202E	Global Studies II: Introduction to Global Studies				○	
		SGS203J	グローバル・スタディーズ III（日本文化論）				○	
		SGS203E	Global Studies III: Japanese Arts and Aesthetics				○	
		SGS204J	グローバル・スタディーズ IV（アフリカ文化論）				○	○
		SGS204E	Global Studies IV: Introduction to African Culture					
		SGS205E	Global Studies V: Crucial Issues in Asia				○	
		SGS306J	グローバル・スタディーズ VI（キリスト教と文化）				○	○
		SGS307E	Global Studies VII: Religion and Society in Japan				○	
		SGS308J	グローバル・スタディーズ VIII（平和学）			○	○	○
		SGS309E	Global Studies IX: International Development				○	
		SGS309J	グローバル・スタディーズ IX（国際協力論）				○	
		SGS310E	Global Studies X: Japan Encounters the West				○	
		SGS311J	グローバル・スタディーズ XI（韓国文化論）				○	
		SGS412E	Global Studies XII: Religion and Public Policy				○	
		SGS413J	グローバル・スタディーズ XIII（リーダーシップと組織マネジメント）				○	
		SGS414E	Global Studies XIV: TESOL				○	
		SGS415J	グローバル・スタディーズ XV（日本語教育）				○	
		SGS316E	Global Studies XVI: Japanese Culture and Society				○	
Integrated Learning	演習 Seminars	IMS310J	専門演習（教会教職 1）			○	○	○
		IMS410J	専門演習（教会教職 2）			○	○	○
		IMS320J/E	専門演習（グローバル） / Major Seminar: Global Studies			○	○	○
		IMS330J	専門演習（ユース 1）			○	○	○
		IMS430J	専門演習（ユース 2）			○	○	○
		IMS340J	専門演習（キリスト教福祉）			○	○	○
		IMS350J/E	専門演習（神学教養） / Major Seminar: Christian Ministry			○	○	○
	統合 実習 Internships	IIS321J/E	実習A（グローバル） / Internship A: Global Studies			○	○	○
		IIS322J	実習B（グローバル）			○	○	○
		IIS323J	実習C（グローバル）			○	○	○
		IIS331J	実習A（ユース 1）			○	○	○
		IIS432J	実習A（ユース 2）			○	○	○
		IIS341J	実習A（福祉）			○	○	○
		IIS451J/E	実習A（キャリア）			○	○	○
	卒業研 Graduation Project	IGP401J/E	卒業研究A（個人）			○	○	○
		IGP402J/E	卒業研究B（協働）			○	○	○

東京基督教大学 神学部 総合神学科

カリキュラムマップ II (ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーの関係)

建学の精神	1. 福音主義 2. 超教派 3. 実践的神学教育 4. 世界宣教
教育目標	東京基督教大学は、プロテスタント福音主義の理念に基づいた世界観と召命観を持ち、教派を超えて教会と社会で、世界宣教の志を持って神と人に仕えるクリスチャンを養成することを教育の目標としています。そのために必要な人格と幅広い教養、神学に関する専門的な知識、主体的に考え行動する力の涵養に努めます。
ディプロマポリシー	東京基督教大学では、所定の期間在学し、本学の「教育目標」に沿って設定された授業科目を履修して、基準となる単位を修得し、卒業判定に合格することが学位授与の要件となっています。学生のために準備された学びには、講義科目のほか、演習や実習、卒業研究等の科目に加え、寮教育や卒業チャペルでのスピーチが含まれます。 以下の基準を満たしている者に学位が授与されます。 DP 1. プロテスタント福音主義の意義を主体的に把握している。 DP 2. 東京基督教大学の超教派の理念を肯定的に理解している。 DP 3. 修得科目にふさわしい神学の知識とその応用力を身につけている。 DP 4. クリスチャンとして人と社会に仕える姿勢および幅広い教養とその実践力を備えている。 DP 5. 神と教会に仕える情熱と、そのために必要な知見を備えている。
カリキュラムポリシー	東京基督教大学では、「建学の精神」および「理念とミッション」に基づく「ディプロマポリシー」を達成するために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を提供し、学修成果をどのように評価するのかを、「カリキュラムポリシー」として以下のように定めています。この「カリキュラムポリシー」を通して、福音的な聖書理解と幅広い神学的知識、さらには情熱を持って神と人に仕えるための実践力を身につけたクリスチャンを育成することを目指します。

カリキュラムポリシー		DP 1 プロテスタント福音主義の意義把握	DP 2 超教派理念の肯定的な理解	DP 3 神学の知識と応用力	DP 4 人と社会に仕える姿勢、教養、実践力	DP 5 神と教会に仕える情熱と知見
科目の提供	a	プロテスタント福音主義と超教派の理念に基づき、聖書神学、組織神学、歴史神学、実践神学の伝統的で幅広い神学の学びの機会を提供します。	○	○		
	b	人間と社会を理解するために必要な教養教育科目を提供します。		○	○	
	c	クリスチャンとして広く社会で活躍する人を育成するため、日本語と英語の両方で学ぶことのできるカリキュラムを提供します。			○	
	d	異文化と他者への理解をもって神と人に仕える実践力を身につけたクリスチャンを育成するため、実践神学、グローバル・スタディーズ、ユース・スタディーズ、キリスト教福祉等の科目群を設けます。	○	○	○	
	e	初年次の学生には、大学における学びに備えるための基礎的な学力の充実を主眼とする科目や、神学を概観できる科目に加え、大学という学習共同体の一体感や、キリスト教世界観を形成するために必要な実践的な学びの機会を提供します。	○	○	○	○
科目の編成	a	学生の主体的な履修を励ますため、基礎学力の向上から専門的知識の修得までを可能にする科目を、科目番号を用いて体系的にわかりやすく配置します。	○	○	○	
	b	学生が自らの興味や将来の目標に沿った学びを進めることができるように、幅広い神学科目の中から、より明確な将来像と結びついた複数の専攻（履修モデル）と副専攻を提供し、具体的な進路選択を促します。提供される専攻は以下のとおりです。教会教職、グローバル・スタディーズ、ユース・スタディーズ、キリスト教福祉、神学教養			○	○
	c	科目ごとに授業の目標、内容、教育方法、評価方法等を明記したシラバスを作成して学生に提供します。また「カリキュラムポリシー」を具体化し、可視化して共有するための「カリキュラムマップ」を学生と教職員に提供し、カリキュラムに関する大学全体の共通理解と連携を図ります。		○		
	d	毎学期後に実施される学生による授業評価を用い、より効果的な科目配置や、授業内容の改善を実施します。		○		
学修の方法と評価	a	学生と教員の距離を縮め、より能動的な学修参加を促すため、少人数クラスの編成を基本とし、講義、演習（ゼミ）、実習（インターンシップ）、実技、卒業研究等の多様な学びの機会を提供します。			○	○
	b	学生の能動的な学修参加と、他者との協働を促すため、授業の中で小グループ・ディスカッションや学生発表等のアクティブラーニングの諸方法を用いた学修の機会を提供します。			○	○
	c	社会と教会に仕える実践力や協働力を身につけたクリスチャンを育成するため、チャペル礼拝出席及び地域教会での礼拝出席を必修とし、さらに寮教育の機会を提供します。			○	○
	d	卒業判定につながる学修成果の評価には、通常の科目成績評価に加え、学生の自己評価や教員との面談を含む複数の他者評価が総合的に用いられます。	○	○	○	○
学修（学習）のサポート	a	担任制を設け、履修相談や進路相談を含めて、細やかに支援します。		○		
	b	上級生と下級生の積極的な交流の機会（入学時オリエンテーション、スプリングリトリート、小グループチャペル等）を設け、学生同士の相互援助を可能にする学習共同体の形成を促します。			○	○
	c	学習に困難さを抱える学生のために、支援制度を設けます。		○		
	d	学生相談室を設け、心身の課題を含めた学生の多様なニーズに応えます。			○	○

東京基督教大学
神 学 部 規 程（抜 粋）

（教育研究上の目的）

第2条 本学部の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、以下の通りとする。

本学部は、プロテスタント福音主義の理念に基づいたキリスト教世界観と召命観を持ち、教派を超えて教会と社会で、世界宣教の志を持って神と人に仕えるクリスチャンを養成することを教育の目標としています。そのために必要な人格と幅広い教養、神学に関する専門的な知識、主体的に考え行動する力の涵養に努めます。

（学部の構成、専攻）

第3条 本学部には、学則第4条に定める総合神学科を設置する。

2 総合神学科の教育研究上の目的は、本学部の教育研究上の目的と共通とする。

3 総合神学科に、履修モデルとして、以下の専攻を設置する。別表Ⅰに定める科目を修得した者には、学長は当該専攻の修了を認定する。

（1）教会教職専攻

（2）グローバル・スタディーズ専攻

（3）ユース・スタディーズ専攻

（4）キリスト教福祉専攻

（5）神学教養専攻

4 前項に定める各専攻の教育目標は、以下の通りとする。

（1）教会教職専攻

教会教職者（牧師、宣教師、伝道師など）への召しに応え、福音主義に立脚した神学諸分野（聖書・組織・歴史・実践）を有機的に統合した学びに取り組む。個々の賜物と召しを重んじ、各教会・教団教派の特徴を尊びつつ、包括的福音の担い手を自覚する教会教職者の養成を目指す。

（2）グローバル・スタディーズ専攻

世界の痛みのあるところに神の愛と平和をもたらすために、異文化の人々と協働することのできる実践的な力をもった人を育成する。国内外の社会問題について多様な視点から分析し、創造的に発想しながら問題解決に向けて自ら行動できる力を養う。

（3）ユース・スタディーズ専攻

ユース（思春期の若者）の文化、および心理的・社会的発達の過程や課題を理解し、彼らの全人格的な成長を促し支えるリーダーシップを養うことを目指す。また、聖書の言葉をユースの実践的問題解決につなげるために神学する力を養う。

（4）キリスト教福祉専攻

基礎的な聖書・神学の理解を土台に、キリスト教福祉の考え方と実践力を養う。特定の領域に縛られず、人々と共に生きる福祉や教会と福祉のあり方等のテーマを、介護・ソーシャルワーク双方から広く学び、将来のクリスチャン福祉ワーカーとしての働きに資するスピリット・知識と技術を培

う。

(5) 神学教養専攻

すべてのキリスト者が神に召された献身者であると考え、それぞれのキリストにある天職を求め、それに応えていくことを目指す。あらゆる事柄についてキリスト教独自の視点で考え、日常生活の全領域において、聖書の言葉に根ざした思想をもって行動する力を養う。

5 1・2年次教育の教育目標は、以下の通りとする。

キリスト教リベラルアーツ教育に基づく幅広い教養を身につけ、理論と実践を統合し、共同体での学び合いを通じて、霊性、知性、品性、社会性を育てる。また、基礎的学びを発展させつつ、キャリア形成を意識しながら専攻を選択する。

6 学則第24条の4に定める制度は、認証制度及び副専攻と称し、詳細は認証制度・副専攻実施規程において定める。

神学部 総合神学科 教育課程（カリキュラム）の特徴

東京基督教大学神学部総合神学科では、TCUコア科目とキリスト教世界観に基づくリベラルアーツ教育と語学教育を基礎として、5つの専攻（教会教職、グローバル・スタディーズ、ユース・スタディーズ、キリスト教福祉、神学教養）に緩やかに分かれての専門教育を行います。

1. TCUコア科目

TCUコア科目は初年次に提供される「TCUスタンダード」、「キリストと世界」、「霊的形成」、「クリスチャンライフ・フォーメーション」です。「TCUスタンダード」では、TCUの建学の精神や歴史などの自校教育をはじめとして、キリスト教世界観の形成と大学教育の基本的スキルを身に着けることを目指して学びます。「キリストと世界」はⅠ(神学)、Ⅱ(旧約)、Ⅲ(新約)の3科目からなり、キリスト教世界観に基づいた神学の基礎を学びます。「霊的形成」は、キリスト者として豊かに生きることをトータルに扱います。「クリスチャンライフ・フォーメーション」では、チャペルや教会実習や寮教育まで本学でのクリスチャンライフ全体をふりかえる作業を行います。

2. キリスト教リベラルアーツ教育

Liberal Artsは、「自由人の学芸」を意味するラテン語 “*artes liberales*” の英語訳です。古代ギリシア・ローマでは、将来家庭、都市、国家を治めることになる自由人の男子に広い教養と専門的スキルを身につけさせました。キリスト教の伝統では、リベラルアーツは男女の区別なく、キリストの統治に参与する自由人の教養教育を指す言葉になりました。

リベラルアーツ教育は、「三科 (*trivium*)」と呼ばれた文法、論理、修辞からなります。文法は、各学問分野の基礎的理解に該当します。論理は、各学問分野に固有の課題の分析、統合する論理的能力の開発に該当します。修辞は、前述2つの理解を他者に対して説得力をもって説明する技能の開拓に該当します。これらの能力の開拓は、あらゆる学問の基本的資質として、TCUコアカリキュラムや教養教育科目だけでなく、専門科目においても適用できるものです。

教養教育がなぜキリスト教世界観に立つことが求められるのでしょうか。キリスト教世界観は、“キリストが全世界と全ての民族の主であられること”に根拠を置きます。あらゆる真理探究は、キリストが治められる「全て」のどこかに係わっています。その意味で、信仰と学問の統合が要求されます。それは、信仰という基準で学問領域を見るというわけではありません。むしろ、神が全てを創造されたというキリスト教存在論的前提と、創造主なる神が一つひとつのものに意義を与えておられるという認識論的前提に立って、それぞれの学問領域に特有の方法論で真理を探究することが求められます。

キリスト教リベラルアーツの基盤をなす「初年次教育」として「基礎演習」「情報リテラシー」「キャリア教育」「Academic Research and Writing」が置かれています。「基礎演習」は、大学教育の導入とともに専攻教育の導入の役割も担っています。②「情報リテラシー」では、多様な情報を収集・分析して適正に判断し、モラルに則って効果的に活用することを目指します。③「キャリア教育」では、キリス

ト者として社会で働くことの職業観を考察し、また卒業後の進路を視野に入れながら、4年間の大学生活とキャリアプランを構築することを目指します。「Academic Research and Writing」は英語で学ぶための基礎をなすものです。

「初年次教育」に加えてキリスト教リベラルアーツの選択科目として「人文学」、「社会科学」、「グレートブックス」、「教会音楽」、「スポーツ」の5分野から満遍なく科目が提供されています。2年次以降に提供される教養科目は、神学と今日的問題の関連を意識させる、学際的な内容の科目が提供されています。

3. 言語教育

言語教育として、「英語」、「韓国語」、「中国語」、「日本語」、「ヘブライ語」、「ギリシア語」の6言語の科目が提供されます。日本語で学ぶ学生は「英語」を中心に、英語で学ぶ学生は「日本語」を中心に学びます。アジアの言語として「韓国語」と「中国語」、聖書学を専門的に学ぶため、特に教会教職を目指す学生に「ヘブライ語」「ギリシア語」の聖書原語科目が提供されます。

4. 専門科目

3年次以降は、5つの主専攻（教会教職、グローバル・スタディーズ、ユース・スタディーズ、キリスト教福祉、神学教養に分かれ、それぞれが定めるところの専門科目の履修が本格的に始まります。また副専攻（グローバル・スタディーズ、ユース・スタディーズ、キリスト教福祉、教会音楽）の学びを並行することも可能です。また英語により提供されている授業を履修することもできます。

5. 統合科目

3、4年生を対象に学びの実践と統合を目的とした演習・実習科目を設けています。また最終学年対象の卒業研究（個人・協働）を通して、学びのまとめに取り組むこともできます。

履修単位数

卒業までに取得すべき単位数は以下のとおりです。

1) 1年次入学

区 分		単位数	科 目
必修	TCU コア	22	TCU スタンダードⅠ～Ⅲ、霊的形成、キリストと世界Ⅰ(神学)、Ⅱ(旧約)、Ⅲ(新約)、クリスチャンライフ・フォーメーションⅠ、Ⅱ
選択	1年次指定	23	基礎演習、情報リテラシー、キャリア教育、Total English Ⅰ～Ⅲ、クリスチャンライフ・フォーメーションⅢ、Ⅳ
	専攻	40	各専攻が指定する科目
	その他	39	個人が自由選択する科目 副専攻科目
卒業要件の履修単位数		124	※左記の履修単位数以上を習得すること

英語トラックでは必修科目区分、1年次指定区分の単位数が異なります。英語学修の手引き「ACADEMIC HANDBOOK」参照。

2) 2年次編入学

区 分		卒業要件 単位数	認定単位数 (最大 <u>30</u> 単位)	TCU で修得 すべき単位数	科 目
必修	TCU コア	22	0	22	TCU スタンダードⅠ～Ⅲ、霊的形成、 キリストと世界Ⅰ(神学)、Ⅱ(旧約)、Ⅲ(新約)、 クリスチャンライフ・フォーメーションⅠ、Ⅱ
選択	Ⅰ年次指定	19	19	0	基礎演習、情報リテラシー、キャリア教育、 Total EnglishⅠ～Ⅲ、 クリスチャンライフ・フォーメーションⅣ
	Ⅱ年次指定	4	0	4	クリスチャンライフ・フォーメーションⅢ
	専攻	40	0	40	各専攻が指定する科目
	その他	39	11	28	個人が自由選択する科目 副専攻科目
小計		124	30	94	※左記の履修単位数以上を習得すること
計			124		

3) 3 年次編入学

区 分		卒業要件 単位数	認定単位数 (最大 <u>60</u> 単位)	TCU で修得 すべき単位数	科 目
必修	TCU コア	22	0	22	TCU スタンダードⅠ～Ⅲ、霊的形成、 キリストと世界Ⅰ(神学)、Ⅱ(旧約)、Ⅲ(新約)、 クリスチャンライフ・フォーメーションⅠ、Ⅱ
選択	Ⅰ年次指定	23	23	0	基礎演習、情報リテラシー、キャリア教育、 Total English Ⅰ～Ⅲ、 クリスチャンライフ・フォーメーションⅢ、Ⅳ
	専攻	40	0	40	各専攻が指定する科目
	その他	39	37	2	個人が自由選択する科目 副専攻科目
小計		124	60	64	※左記の履修単位数以上を習得すること
計			124		

主専攻と副専攻

3 年次から専攻を選択します。

主専攻		副専攻 Ⅰ	副専攻 Ⅱ
Ⅰ年次入学	教会教職	○	×
	グローバル・スタディーズ		
	ユース・スタディーズ		
	キリスト教福祉		
	神学教養	○	○
編入	神学教養	○	×
	その他の専攻	×	×

[副専攻名]

- ・グローバル・スタディーズ
- ・ユース・スタディーズ
- ・キリスト教福祉
- ・Japanese Studies
- ・教会音楽

【主専攻ルール】

- ① 主専攻の修了要件単位は 40 単位。
- ② 主専攻を 2 つ選択することはできない。

【副専攻ルール】

- ① 副専攻の修了要件単位は 16 単位。
- ② 修了要件として個別科目の成績基準は設けないが、すべての科目の平均 GPA を 2.50 以上とする。
- ③ 主専攻と同一名称（グローバル・ユース・キリスト教福祉）の副専攻はとれない。
- ④ 主専攻と副専攻とで同一科目が指定されている場合、両方の要件としてカウントできるが、複数の副専攻で同一科目が指定されている場合は、両方の要件としてカウントできない。
- ⑤ 複数の副専攻修了を目指すことは可能だが、単年度内で履修可能な時間割は保証しない。

科目コード

科目コード、科目名称の後ろにつく記号には、以下に示す法則により区分、科目名、履修目安年次が読み取れます。また、科目の履修条件を見極めるためにも役立ちます。

例 1

科目コード	科目名称
R F Y I O I J	基礎演習 A
① ② ③ ④ ⑤ ⑥	⑦

例 2

科目コード	科目名称
I M S 3 3 0 J	専門演習 (ユース I)
① ② ③ ④ ⑤ ⑥	⑦

1. 科目コード

① 科目の区分 英語表記の省略形 (左端 1 桁のアルファベット)

C・・・TCU コア	R・・・キリスト教リベラルアーツ
L・・・言語	S・・・専門
I・・・統合	

② 科目の名称 英語表記の省略形 (左から 2 つ目と 3 つ目の 2 桁のアルファベット)

TS・・・TCU スタANDARD	CW・・・キリストと世界	
SD・・・霊的形成	CF・・・クリスチャンライフ・フォーメーション	
FY・・・初年次教育	HU・・・人文学	SS・・・社会科学
CM・・・教会音楽	SL・・・スポーツ・リベラルアーツ	GB・・・Great Books
EN・・・英語	KO・・・韓国語	ZH・・・中国語
JA・・・日本語	BH・・・ヘブライ語	BG・・・ギリシア語
BS・・・聖書学	CH・・・組織・歴史神学	PT・・・実践神学
YS・・・ユース・スタディーズ	CW・・・キリスト教福祉	GS・・・グローバル・スタディーズ
MS・・・専門演習	IS・・・実習	GP・・・卒業研究

※ 例外として単位認定科目を TRANS で表します。

③ 履修目安年次 (左から 1 つ目の数字)

1・・・第 1 年次 2・・・第 2 年次 3・・・第 3 年次 4・・・第 4 年次

④-1 科目の名称のうち、科目の並び順 (左から 2 つ目の数字 1 桁)

④-2 科目の名称のうち、専門演習、実習の区分 (左から 2 つ目の数字 1 桁)

1・・・教会教職 2・・・グローバル 3・・・ユース 4・・・キリスト教福祉 5・・・神学教養

④⑤ 「キリスト教福祉」科目、「グローバル・スタディーズ」科目の区分内の並び順

(左から 2 つ目と 3 つ目の数字 2 桁)

⑤ 同一科目 (基礎演習、Total English) の履修クラスの識別 (左から 3 つ目の数字 1 桁)

1・・・A 2・・・B 3・・・C 4・・・D

⑥ 授業提供言語 (右端のアルファベット 1 文字)

J・・・日本語科目 E・・・英語科目

2. 科目名称の後ろにつく記号 ⑦

アラビア数字: 1、2、3、4・・・履修順序あり (上記「例 2」参照)

ローマ数字: I、II、III、IV・・・履修順序なし

アルファベット: A、B、C・・・クラス別 (上記「例 1」参照)

東京基督教大学 神学部 総合神学科 教育課程表

科目区分	科目コード	科目名	必修	1年次 入学 指定	隔年	単位
TCU Core	CTS110J	TCUスタンダード 1	●			2
	CTS120J	TCUスタンダード 2	●			2
	CTS130J	TCUスタンダード 3	●			2
	CCW110J	キリストと世界 I (神学)	●			2
	CCW120J	キリストと世界 II (旧約)	●			2
	CCW130J	キリストと世界 III (新約)	●			2
	CSD100J	霊的形成	●			2
	CCF100J	クリスチャンライフ・フォーメーション 1	●			4
	CCF200J	クリスチャンライフ・フォーメーション 2	●			4
	CCF300J	クリスチャンライフ・フォーメーション 3		◎		4
	CCF400J	クリスチャンライフ・フォーメーション 4		◎		4
	CTS110E	TCU Standard 1	●			2
	CTS120E	TCU Standard 2	●			2
	CTS130E	TCU Standard 3	●			2
	CCW110E	Christ and the World I: Issues Facing the Church Today	●			2
	CCW120E	Christ and the World II: Issues Facing the Church through Time	●			2
	CCW130E	Christ and the World III: Issues Facing Ancient Israel and the Early Church	●			2
	CSD100E	Spiritual Development	●			2
	CCF100E	Christian Life Formation 1	●			4
	CCF200E	Christian Life Formation 2	●			4
	CCF300E	Christian Life Formation 3		◎		4
	CCF400E	Christian Life Formation 4		◎		4
Christian Liberal Arts	RFY111J	基礎演習 A		◎		2
	RFY112J	基礎演習 B		◎		2
	RFY113J	基礎演習 C		◎		2
	RFY120J	情報リテラシー		◎		2
	RFY130J	キャリア教育		◎		2
	RFY110E	Academic Research and Writing		◎		2
	RHU110J	人文学 I (文学)				2
	RHU120J	人文学 II (西洋思想)			○	2
	RHU230J	人文学 III (東洋思想)				2
	RHU240J	人文学 IV (キリスト教倫理)			○	2
	RHU350J	人文学 V (キリスト教哲学)				2
	RHU210E	Humanities I: Survey of Western Philosophy			○	2
	RHU220E	Humanities II: Christian Ethics			○	2
	RSS110J	社会科学 I (保育学)				2
	RSS120J	社会科学 II (女性と社会)				2
	RSS230J	社会科学 III (心理学 I)				2
	RSS240J	社会科学 IV (心理学 II)				2
	RSS350J	社会科学 V (言語学)			○	2
	RSS210E	Social Sciences I: General Psychology			○	2
	RSS220E	Social Sciences II: Christian Education			○	2
	RGB110E	Great Books I: Western Philosophy				2
	RGB120E	Great Books II: Japanese Literature				2
	RGB230E	Great Books III: World Literature			○	2
	RGB240E	Great Books IV: Social Sciences			○	2
	RGB250E	Great Books V: Natural Sciences			○	2
	RGB360E	Great Books VI: Sacred Books of the East			○	2
	RGB370E	Great Books VII: Christian Classics			○	2
Church Music	RCM110J	教会音楽 I (ミュージックミニストリー)				2
	RCM220J	教会音楽 II (教会音楽の歴史)			○	2
	RCM330J	教会音楽 III (教会音楽の実際)				2
	RCM140J	教会音楽 IV (クワイア1~4)				2
	RCM150J	教会音楽 V (オルガンレッスン1~4)				2
	RCM160J	教会音楽 VI (ピアノレッスン1~4)				2
	RCM170J	教会音楽 VII (声楽レッスン1~4)				2
	RCM180J	教会音楽 VIII (ギターレッスン1~4)				2
	RSL110J	スポーツ・リベラルアーツ I				2
	RSL120J	スポーツ・リベラルアーツ II				2

科目区分	科目コード	科目名	必修	1年次 入学 指定	隔年	単位
Languages	LEN111J	Total English 1-A (Total English 4-A)		◎		4
	LEN112J	Total English 1-B		◎		4
	LEN113J	Total English 1-C		◎		4
	LEN121J	Total English 2-A (Total English 5-A)		◎		4
	LEN122J	Total English 2-B		◎		4
	LEN123J	Total English 2-C		◎		4
	LEN131J	Total English 3-A (Total English 6-A)		◎		1
	LEN132J	Total English 3-B		◎		1
	LEN133J	Total English 3-C		◎		1
	LEN250J	Pre-English Intensive Study Abroad				1
	LEN260J	English Intensive Study Abroad				4
	LK0210J	韓国語 1 (基礎)				2
	LK0220J	韓国語 2 (初級)				2
	LK0330J	韓国語 3 (中級)				2
	LZH210J	中国語 1 (基礎と台湾文化入門)				2
	LZH220J	中国語 2 (初級)				2
	LJA110E	Elementary Japanese Language and Culture 1		◎		4
	LJA120E	Elementary Japanese Language and Culture 2		◎		4
	LJA130E	Elementary Japanese Language and Culture 3		◎		4
	LJA210E	Intermediate Japanese Language and Culture 1				4
	LJA220E	Intermediate Japanese Language and Culture 2				4
	LJA230E	Intermediate Japanese Language and Culture 3				4
	LJA341E	Advanced Japanese Language and Culture 1				2
	LJA342E	Advanced Japanese Language and Culture 2				2
	LJA343E	Advanced Japanese Language and Culture 3				2
	LJA361E	Japanese Extensive Reading and Listening 1				2
	LJA362E	Japanese Extensive Reading and Listening 2				2
	LJA363E	Japanese Extensive Reading and Listening 3				2
	LJA281E	Mastering Kanji 1				1
	LJA282E	Mastering Kanji 2				1
	LJA283E	Mastering Kanji 3				1
	LBH310J	ヘブライ語 1 (文法1)				2
	LBH320J	ヘブライ語 2 (文法2)				2
	LBH330J	ヘブライ語 3 (文法3)				2
	LBH440J	ヘブライ語 4 (講読1)				1
	LBH450J	ヘブライ語 5 (講読2)				1
	LBG310J	ギリシア語 1 (文法1)				2
	LBG320J	ギリシア語 2 (文法2)				2
	LBG330J	ギリシア語 3 (文法3)				2
	LBG440J	ギリシア語 4 (講読1)				1
	LBG450J	ギリシア語 5 (講読2)				1

科目 区分	科目 コード	科目名	必修	1年次 入学 認定	隔 年	単位
Specializations	Biblical Studies 聖書学	SBS210J 聖書学 I (旧約通論)				2
		SBS320J 聖書学 II (福音書)				2
		SBS330J 聖書学 III (モーセ五書)				2
		SBS340J 聖書学 IV (預言書・聖文書)				2
		SBS350J 聖書学 V (書簡)				2
		SBS210E Biblical Studies I: Old Testament Survey			○	2
		SBS220E Biblical Studies II: New Testament Survey			○	2
		SBS430E Biblical Studies III: Approaches to Biblical Interpretation			○	2
		SBS440E Biblical Studies IV: Topics in Biblical Theology			○	2
		SBS450E Biblical Studies V: Selected Biblical Books			○	2
	Christian History and Tradition 組織神学・歴史神学	SCH210J 組織神学 I (神論・人間論・キリスト論)				2
		SCH220J 組織神学 II (救済論・教会論・終末論)				2
		SCH230J 歴史神学 I (古代・中世)				2
		SCH240J 歴史神学 II (宗教改革・近現代)				2
		SCH350J 歴史神学 III (旧約聖書史/考古学)			○	2
		SCH360J 歴史神学 IV (第二神殿時代史/考古学)			○	2
		SCH470J 歴史神学 V (信条学)				2
		SCH480J 歴史神学 VI (日本キリスト教通史)				2
		SCH310E Christian History and Tradition I: Ancient and Medieval Church History			○	2
		SCH320E Christian History and Tradition II: The Reformation and Modern Church History			○	2
		SCH330E Christian History and Tradition III: The Heidelberg Catechism			○	2
		SCH340E Christian History and Tradition IV: Science and Religion			○	2
		SCH450E Christian History and Tradition V: Systematic Theology			○	2
		SCH460E Christian History and Tradition VI: Japanese Church History			○	2
	Practical Theology 実践神学	SPT210J 実践神学 I (宣教学)				2
		SPT220J 実践神学 II (メッセージの方法と実践)				2
		SPT330J 実践神学 III (説教学)				2
		SPT440J 実践神学 IV (説教演習)				2
		SPT450J 実践神学 V (礼拝学)				2
		SPT460J 実践神学 VI (牧会学)				2
		SPT470J 実践神学 VII (牧会カウンセリング)				2
		SPT210E Practical Theology I: Missiology			○	2
		SPT220E Practical Theology II: Public Speaking			○	2
		SPT230E Practical Theology III: Introduction to Christian Ministry in Japan			○	2
		SPT340E Practical Theology IV: Clinical and Pastoral Psychology			○	2
		SPT350E Practical Theology V: Christian Apologetics			○	2
		SPT360E Practical Theology VI: Philosophy and Theology of Music			○	2
	Youth Studies ユース・ミニストリー	SYS210J ユース・ミニストリー I (神学と実践)				2
		SYS320J ユース・ミニストリー II (思春期の理解)				2
		SYS230J キリスト教教育 I (神学と理念)				2
		SYS340J キリスト教教育 II (方法と実践)				2
	Christian Social Work キリスト教福祉	SCW201J キリスト教福祉 I (介護福祉)				2
		SCW202J キリスト教福祉 II (キリスト教公共福祉論)				2
		SCW203J キリスト教福祉 III (人間の尊厳と自立)				2
		SCW204J キリスト教福祉 IV (人間関係とコミュニケーション)				2
		SCW205J キリスト教福祉 V (こころとからだのしくみ)				2
		SCW306J キリスト教福祉 VI (生活支援技術)				2
		SCW307J キリスト教福祉 VII (障がいの理解)				2
		SCW308J キリスト教福祉 VIII (社会福祉論)				2
		SCW309J キリスト教福祉 IX (対人援助と問題解決法)				2
		SCW310J キリスト教福祉 X (精神保健福祉論)			○	2

科目 区分	科目 コード	科目名	必修	1年次 入学 認定	隔 年	単位
Specializations	Global Studies グローバル・スタディーズ	SGS101J グローバル・スタディーズ I (異文化理解)				2
		SGS101E Global Studies I: Intercultural Communication	◎			2
		SGS202J グローバル・スタディーズ II (グローバル・スタディーズ入門)				2
		SGS202E Global Studies II: Introduction to Global Studies				2
		SGS203J グローバル・スタディーズ III (日本文化論)				3
		SGS203E Global Studies III: Japanese Arts and Aesthetics				
		SGS204J グローバル・スタディーズ IV (アフリカ文化論)			○	2
		SGS204E Global Studies IV: Introduction to African Culture				
		SGS205E Global Studies V: Crucial Issues in Asia			○	2
		SGS306J グローバル・スタディーズ VI (キリスト教と文化)				2
		SGS307E Global Studies VII: Religion and Society in Japan			○	3
		SGS308J グローバル・スタディーズ VIII (平和学)			○	2
		SGS309E Global Studies IX: International Development			○	2
		SGS309J グローバル・スタディーズ IX (国際協力論)			○	2
		SGS310E Global Studies X: Japan Encounters the West			○	2
		SGS311J グローバル・スタディーズ XI (韓国文化論)				2
		SGS412E Global Studies XII: Religion and Public Policy			○	2
		SGS413J グローバル・スタディーズ XIII (リーダーシップと組織マネジメント)				2
		SGS414E Global Studies XIV: TESOL			○	2
		SGS415J グローバル・スタディーズ XV (日本語教育)			○	2
		SGS316E Global Studies XVI: Japanese Culture and Society				3
	Integrated Learning	Seminars 演習	IMS310J 専門演習 (教会教職 1)			2
			IMS410J 専門演習 (教会教職 2)			2
			IMS320J/E 専門演習 (グローバル) / Major Seminar: Global Studies			2
			IMS330J 専門演習 (ユース 1)		○	2
			IMS430J 専門演習 (ユース 2)		○	2
			IMS340J 専門演習 (キリスト教福祉)			2
		Internships 実習	IMS350J/E 専門演習 (神学教養) / Major Seminar: Christian Ministry			2
			IIS321J/E 実習A (グローバル) / Internship A: Global Studies			2
			IIS322J 実習B (グローバル)			4
			IIS323J 実習C (グローバル)			6
			IIS331J 実習A (ユース 1)			2
			IIS432J 実習A (ユース 2)			2
		Graduation 卒業研究	IIS341J 実習A (福祉)			2
			IIS451J/E 実習A (キャリア)			2
			IGP401J/E 卒業研究A (個人)			6
			IGP402J/E 卒業研究B (協働)			6

教会教職専攻

区分	科目コード	科目名	主専攻	
			指定	推奨
リベラル ス ア ー 教 ツ	RHU110J	人文学 I (文学)		2
	RHU120J	人文学 II (西洋思想)		2
	RHU230J	人文学 III (東洋思想)		2
	RHU240J	人文学 IV (キリスト教倫理)		2
	RHU350J	人文学 V (キリスト教哲学)		2
	RCM220J	教会音楽 II (教会音楽の歴史)		2 隔年開講
	RCM330J	教会音楽 III (教会音楽の実際)	2	隔年開講
ヘ ブ ラ イ 語	LBH310J	ヘブライ語 I (文法I)	2	
	LBH320J	ヘブライ語 2 (文法2)	2	
	LBH330J	ヘブライ語 3 (文法3)		2
	LBH440J	ヘブライ語 4 (講読I)		1
	LBH450J	ヘブライ語 5 (講読2)		1
ギ リ シ ア 語	LBG310J	ギリシア語 I (文法I)	2	
	LBG320J	ギリシア語 2 (文法2)	2	
	LBG330J	ギリシア語 3 (文法3)		2
	LBG440J	ギリシア語 4 (講読I)		1
	LBG450J	ギリシア語 5 (講読2)		1
聖 書 学	SBS210J	聖書学 I (旧約通論)	2	
	SBS320J	聖書学 II (福音書)	2	
	SBS330J	聖書学 III (モーセ五書)		2
	SBS340J	聖書学 IV (預言書・聖文書)		2
	SBS350J	聖書学 V (書簡)	2	
組 織 神 学 ・ 歴 史 神 学	SCH210J	組織神学 I (神論・人間論・キリスト論)	2	
	SCH220J	組織神学 II (救済論・教会論・終末論)	2	
	SCH230J	歴史神学 I (古代・中世)	2	
	SCH240J	歴史神学 II (宗教改革・近現代)	2	
	SCH350J	歴史神学 III (旧約聖書史/考古学)		2 隔年開講
	SCH360J	歴史神学 IV (第二神殿時代史/考古学)		2 隔年開講
	SCH470J	歴史神学 V (信条学)		2
	SCH480J	歴史神学 VI (日本キリスト教通史)	2	
実 践 神 学	SPT210J	実践神学 I (宣教学)	2	
	SPT220J	実践神学 II (メッセージの方法と実践)		2
	SPT330J	実践神学 III (説教学)	2	
	SPT440J	実践神学 IV (説教演習)	2	
	SPT450J	実践神学 V (礼拝学)	2	
	SPT460J	実践神学 VI (牧会学)	2	
	SPT470J	実践神学 VII (牧会カウンセリング)		2
グ ロ ー バ ル	SGS101J	グローバル・スタディーズ I (異文化理解)		2
キ リ ス ト 教 福 祉	SCW308J	キリスト教福祉 VIII (社会福祉論)		2
統 合	IMS310J	専門演習 (教会教職 1)	2	
	IMS410J	専門演習 (教会教職 2)	2	
指定科目・推奨科目 単位数 計			40	38

グローバル・スタディーズ専攻（主・副）

科目 区分	科目コード	科目名（主）	主専攻		副専攻		隔年 開講
			指定	選択	指定	選択	
言語	LEN211J	Total English 4		4		4	
	LEN250J	Pre-English Intensive Study Abroad		1			
	LEN260J	English Intensive Study Abroad		4		4	
	LK0210J	韓国語 1（基礎）		2		2	
	LK0220J	韓国語 2（初級）		2		2	
	LK0330J	韓国語 3（中級）		2		2	
	LZH210J	中国語 1（基礎と台湾文化入門）		2		2	
	LZH220J	中国語 2（初級）		2		2	
	LBH310J	ヘブライ語 1（文法1）		2		2	
	LBH320J	ヘブライ語 2（文法2）		2		2	
	LBH330J	ヘブライ語 3（文法3）		2		2	
	LBH440J	ヘブライ語 4（講読1）		1		1	
	LBH450J	ヘブライ語 5（講読2）		1		1	
	LBG310J	ギリシア語 1（文法1）		2		2	
	LBG320J	ギリシア語 2（文法2）		2		2	
	LBG330J	ギリシア語 3（文法3）		2		2	
	LBG440J	ギリシア語 4（講読1）		1		1	
	LBG450J	ギリシア語 5（講読2）		1		1	
	LJA210E	Intermediate Japanese Language and Culture 1		4			
	LJA220E	Intermediate Japanese Language and Culture 2		4			
	LJA230E	Intermediate Japanese Language and Culture 3		4			
	LJA310E	Advanced Japanese Language and Culture 1		2		2	
	LJA320E	Advanced Japanese Language and Culture 2		2		2	
	LJA330E	Advanced Japanese Language and Culture 3		2		2	
	LJA350E	Japanese Extensive Reading and Listening 1		2		2	
	LJA360E	Japanese Extensive Reading and Listening 2		2		2	
	LJA370E	Japanese Extensive Reading and Listening 3		2		2	
	LJA250E	Mastering Kanji 1		1			
	LJA260E	Mastering Kanji 2		1			
	LJA270E	Mastering Kanji 3		1			
	RFY110E	Academic Research and Writing ※ Only Japanese Track Student		2			
			「言語」区分から		10		4
グローバル	SGS101J	グローバル・スタディーズ I（異文化理解）	2		2		
	SGS101E	Global Studies I: Intercultural Communication					
	SGS202J	グローバル・スタディーズ II（グローバル・スタディーズ入門）	2		2		
	SGS202E	Global Studies II: Introduction to Global Studies					
	SGS203J	グローバル・スタディーズ III（日本文化論）		3		3	
	SGS203E	Global Studies III: Japanese Arts and Aesthetics					
	SGS204J	グローバル・スタディーズ IV（アフリカ文化論）		2		2	●
	SGS204E	Global Studies IV: Introduction to African Culture					
	SGS205E	Global Studies V: Crucial Issues in Asia		2		2	●
	SGS306J	グローバル・スタディーズ VI（キリスト教と文化）		2		2	
	SGS307E	Global Studies VII: Religion and Society in Japan		3		3	●
	SGS308J	グローバル・スタディーズ VIII（平和学）		2		2	●
	SGS309E	Global Studies IX: International Development		2		2	●
	SGS309J	グローバル・スタディーズ IX（国際協力論）		2		2	●
	SGS310E	Global Studies X: Japan Encounters the West		2		2	●
	SGS311J	グローバル・スタディーズ XI（韓国文化論）		2		2	
	SGS412E	Global Studies XII: Religion and Public Policy		2		2	●
	SGS413J	グローバル・スタディーズ XIII（リーダーシップと組織マネジメント）		2		2	
	SGS414E	Global Studies XIV: TESOL		2		2	●
	SGS415J	グローバル・スタディーズ XV（日本語教育）		2		2	●
SGS316E	Global Studies XVI：Japanese Culture and Society		3		3		
		「グローバル」区分から	4	10	4	6	
人文・GB・歴史神学・実践神学	RHU120J	人文学 II（西洋思想）		2			●
	RHU230J	人文学 III（東洋思想）		2			
	RHU240J	人文学 IV（キリスト教倫理）		2			●
	RHU210E	Humanities I: Survey of Western Philosophy		2			●
	RHU220E	Humanities II: Christian Ethics		2			●
	RGB110E	Great Books I: Western Philosophy		2			
	RGB120E	Great Books II: Japanese Literature		2			
	RGB230E	Great Books III: World Literature		2			●
	RGB240E	Great Books IV: Social Sciences		2			●
	RGB250E	Great Books V: Natural Sciences		2			●
	RGB360E	Great Books VI: Sacred Books of the East		2			●
	RGB370E	Great Books VII: Christian Classics		2			●
	SCH230J	歴史神学 I（古代・中世）		2			
	SCH240J	歴史神学 II（宗教改革・近現代）		2			
	SCH480J	歴史神学 VI（日本キリスト教通史）		2			
	SCH310E	Christian History and Tradition I: Ancient and Medieval Church History		2			●
	SCH320E	Christian History and Tradition II: The Reformation and Modern Church History		2			●
	SCH460E	Christian History and Tradition VI: Japanese Church History		2			●
	SPT210J	実践神学 I（宣教学）		2			
	SPT210E	Practical Theology I: Missiology		2			●
		「人文・GB・歴史神学・実践神学」区分から		8			
統合	IMS320J/E	専門演習（グローバル）/ Major Seminar: Global Studies		2		2	
	IIS321J/E	実習A（グローバル）/ Internship A: Global Studies		2		2	
	IIS322J/E	実習B（グローバル）/ Internship B: Global Studies		4		4	
	IIS323J	実習C（グローバル）		6		6	
	IGP401J/E	卒業研究A（個人）/ Graduation Thesis		6			
			「統合」区分から		8		2
指定科目・選択科目 単位数 計			4	36	4	12	
主専攻・副専攻 単位数 計			40		16		

※「言語」区分にヘブライ語、ギリシア語が追加されました。

ユース・スタディーズ専攻（主・副）

科目 区分	科目コード	科目名	主専攻		副専攻
			指定	選択	指定
リベラル アーツ 教 育	RSS230J	社会科学 III（心理学 I）	2		2
	RSS240J	社会科学 IV（心理学 II）	2		2
	RCM110J	教会音楽 I（ミュージックミニストリー）	2		
ユ ー ス	SYS210J	ユース・ミニストリー I（神学と実践）	2		2
	SYS320J	ユース・ミニストリー II（思春期の理解）	2		2
	SYS230J	キリスト教教育 I（神学と理念）	2		2
	SYS340J	キリスト教教育 II（方法と実践）	2		2
実 践 神 学	SPT210J	実践神学 I（宣教学）	2		
	SPT220J	実践神学 II（メッセージの方法と実践）	2		
統 合	IMS330J	専門演習（ユース 1）	2		2
	IMS430J	専門演習（ユース 2）	2		
	IIS331J	実習A（ユース 1）	2		2
	IIS432J	実習A（ユース 2）	2		
	IGT401J/E	卒業研究A（個人）	6		
聖 書 学	SBS210J	聖書学 I（旧約通論）		2	
	SBS320J	聖書学 II（福音書）		2	
	SBS330J	聖書学 III（モーセ五書）		2	
	SBS340J	聖書学 IV（預言書・聖文書）		2	
	SBS350J	聖書学 V（書簡）		2	
組 織 神 学 ・ 歴 史 神 学	SCH210J	組織神学 I（神論・人間論・キリスト論）		2	
	SCH220J	組織神学 II（救済論・教会論・終末論）		2	
	SCH230J	歴史神学 I（古代・中世）		2	
	SCH240J	歴史神学 II（宗教改革・近現代）		2	
	SCH350J	歴史神学 III（旧約聖書史/考古学）		2	
	SCH360J	歴史神学 IV（第二神殿時代史/考古学）		2	
	SCH470J	歴史神学 V（信条学）		2	
	SCH480J	歴史神学 VI（日本キリスト教通史）		2	
指定科目・選択科目 単位数 計			32	8	16
主専攻・副専攻 単位数 計			40		16

キリスト教福祉専攻（主・副）

科目 区分	科目コード	科目名	主専攻		副専攻	
			指定	選択	指定	選択
リ ベ ラ ル ア ー ツ 教 育	RHU240J	人文学 IV（キリスト教倫理）		2		
	RHU350J	人文学 V（キリスト教哲学）		2		
	RSS110J	社会科学 I（保育学）		2		2
	RSS230J	社会科学 III（心理学 I）		2		
	RSS240J	社会科学 IV（心理学 II）		2		
	「キリスト教リベラルアーツ」区分から			4		
キ リ ス ト 教 福 祉	SCW201J	キリスト教福祉 I（介護福祉）	2		2	
	SCW202J	キリスト教福祉 II（キリスト教公共福祉論）	2		2	
	SCW203J	キリスト教福祉 III（人間の尊厳と自立）	2		2	
	SCW204J	キリスト教福祉 IV（人間関係とコミュニケーション）	2			2
	SCW205J	キリスト教福祉 V（こころとからだのしくみ）	2			2
	SCW306J	キリスト教福祉 VI（生活支援技術）	2			2
	SCW307J	キリスト教福祉 VII（障がいの理解）	2			2
	SCW308J	キリスト教福祉 VIII（社会福祉論）	2		2	
	SCW309J	キリスト教福祉 IX（対人援助と問題解決法）	2			2
	SCW310J	キリスト教福祉 X（精神保健福祉論）	2			2
グ ロ ー バ ル	SGS413J	グローバル・スタディーズ XIII（リーダーシップと組織マネジメント）	2			
	SGS101J	グローバル・スタディーズ I（異文化理解）		2		
	SGS202J	グローバル・スタディーズ II（グローバル・スタディーズ入門）		2		
	SGS309J	グローバル・スタディーズ IX（国際協力論）		2		
	「グローバル」区分から			4		
統 合	IMS340J	専門演習（キリスト教福祉）	2		2	
	IIS441J	実習A（福祉）	2			2
	IIS351J	実習A（キャリア）				2
歴 史 神 学 ・ 組 織 神 学 ・ 実 践 神 学	SBS210J	聖書学 I（旧約通論）		2		
	SBS320J	聖書学 II（福音書）		2		
	SCH210J	組織神学 I（神論・人間論・キリスト論）		2		
	SCH220J	組織神学 II（救済論・教会論・終末論）		2		
	SCH230J	歴史神学 I（古代・中世）		2		
	SCH240J	歴史神学 II（宗教改革・近現代）		2		
	SPT210J	実践神学 I（宣教学）		2		
	「聖書学・組織神学・歴史神学・実践神学」区分から			6		
指定科目・選択科目 単位数 計			26	14	10 ※3	6
主専攻・副専攻 単位数 計			40		16	

※1 主専攻、副専攻で「専門演習（キリスト教福祉）」が指定科目となりました。

※2 副専攻では、実習A（福祉）もしくは実習A（キャリア）から1科目を選択すること。

※3 全科目区分の選択科目から6単位を修得

神学教養専攻 (主)

科目区分 (大)	科目区分 (小)	選択	備考
リベラルス アート教 育	人文学	提供科目から	
	社会科学	提供科目から	
	グレートブックス	提供科目から	
	教会音楽	提供科目から	
	スポーツ	提供科目から	
言語	英語	提供科目から	※ 1
	韓国語	提供科目から	
	中国語	提供科目から	
	日本語	提供科目から	※ 1
	ヘブライ語	提供科目から	
	ギリシア語	提供科目から	
専門	聖書学	提供科目から	
	組織神学・歴史神学	提供科目から	
	実践神学	提供科目から	
	グローバル・スタディーズ	提供科目から	
	ユース・スタディーズ	提供科目から	
	キリスト教福祉	提供科目から	
統合	専門演習	提供科目から	専門演習 (神学教養)
	実習	提供科目から	実習 (キャリア)
	卒業研究	提供科目から	
単位数 計		40以上	※ 2

※ 1 日本語トラック生は、日本語科目。英語トラック生は、英語科目の履修は不可。

※ 2 総合神学科で提供される科目から40単位以上修得すること。

Japanese Studies (副)

Those who entered in August 2024 or later

科目 区分	科目コード	科目名	副専攻
			選択
言語	LJA310E	Advanced Japanese Language and Culture 1	2
	LJA320E	Advanced Japanese Language and Culture 2	2
	LJA330E	Advanced Japanese Language and Culture 3	2
	LJA350E	Japanese Extensive Reading and Listening 1	2
	LJA360E	Japanese Extensive Reading and Listening 2	2
	LJA370E	Japanese Extensive Reading and Listening 3	2
	LJA250E	Mastering Kanji 1	1
	LJA260E	Mastering Kanji 2	1
	LJA270E	Mastering Kanji 3	1
	「言語」区分から		
グ ロ ー バ ル	SGS101E	Global Studies I: Intercultural Communication	2
	SGS203J	グローバル・スタディーズ III（日本文化論）	3
	SGS203E	Global Studies III: Japanese Arts and Aesthetics	
	SGS307E	Global Studies VII: Religion and Society in Japan	3
	SGS310E	Global Studies X: Japan Encounters the West	2
	SGS316E	Global Studies XVI：Japanese Culture and Society	3
	SGS415J	グローバル・スタディーズ XV（日本語教育）	2
そ の 他	RHU230J	人文学 III（東洋思想）	2
	RGB120E	Great Books II: Japanese Literature	2
	SCH480J	歴史神学 VI（日本キリスト教通史）	2
	SCH460E	Christian History and Tradition VI: Japanese Church History	2
	「グローバル」「その他」区分から		
単位数 計			16

Japanese Studies (副)

Those who entered in August 2023 or before

科目 区分	科目コード	科目名	副専攻	
			選択 1	選択 2
言語	LJA310E	Advanced Japanese Language and Culture 1	2	2
	LJA320E	Advanced Japanese Language and Culture 2	2	2
	LJA330E	Advanced Japanese Language and Culture 3	2	2
	LJA350E	Japanese Extensive Reading and Listening 1	2	2
	LJA360E	Japanese Extensive Reading and Listening 2	2	2
	LJA370E	Japanese Extensive Reading and Listening 3	2	2
	LJA250E	Mastering Kanji 1	1	1
	LJA260E	Mastering Kanji 2	1	1
	LJA270E	Mastering Kanji 3	1	1
			「言語」区分から	6
グ ロ ー バ ル	SGS101E	Global Studies I: Intercultural Communication	2	2
	SGS203J	グローバル・スタディーズ III（日本文化論）	3	3
	SGS203E	Global Studies III: Japanese Arts and Aesthetics		
	SGS307E	Global Studies VII: Religion and Society in Japan	3	3
	SGS310E	Global Studies X: Japan Encounters the West	2	2
	SGS316E	Global Studies XVI：Japanese Culture and Society	3	3
	SGS415J	グローバル・スタディーズ XV（日本語教育）	2	2
そ の 他	RHU230J	人文学 III（東洋思想）	2	2
	RGB120E	Great Books II: Japanese Literature	2	2
	SCH480J	歴史神学 VI（日本キリスト教通史）	2	2
	SCH460E	Christian History and Tradition VI: Japanese Church History	2	2
		「グローバル」「その他」区分から	6	
選択 1・選択 2 単位数 計			12	※ 2 4
単位数 計			16	

※1 2023年度以前の英語トラック入学生が対象

※2 「選択2」の全科目区分の選択科目から4単位以上を修得

教会音楽（副）

科目 区分	科目コード	科目名	副専攻		
			指定	選択	
教会音楽	RCM110J	教会音楽Ⅰ（ミュージックミニストリー）	2		隔年開講
	RCM220J	教会音楽Ⅱ（教会音楽の歴史）	2		
	RCM330J	教会音楽Ⅲ（教会音楽の実際）	2		隔年開講
	RCM140J	教会音楽Ⅳ（クワイア1）	2		
	RCM240J	教会音楽Ⅳ（クワイア2）	2		
	RCM340J	教会音楽Ⅳ（クワイア3）			
	RCM440J	教会音楽Ⅳ（クワイア4）			
	RCM150J	教会音楽Ⅴ（オルガンレッスン1）			4 ※Ⅰ
	RCM250J	教会音楽Ⅴ（オルガンレッスン2）			
	RCM350J	教会音楽Ⅴ（オルガンレッスン3）			
	RCM450J	教会音楽Ⅴ（オルガンレッスン4）			
	RCM160J	教会音楽Ⅵ（ピアノレッスン1）			4 ※Ⅰ
	RCM260J	教会音楽Ⅵ（ピアノレッスン2）			
	RCM360J	教会音楽Ⅵ（ピアノレッスン3）			
	RCM460J	教会音楽Ⅵ（ピアノレッスン4）			
	RCM170J	教会音楽Ⅶ（声楽レッスン1）			4 ※Ⅰ
	RCM270J	教会音楽Ⅶ（声楽レッスン2）			
	RCM370J	教会音楽Ⅶ（声楽レッスン3）			
	RCM470J	教会音楽Ⅶ（声楽レッスン4）			
	RCM180J	教会音楽Ⅷ（ギターレッスン1）			4 ※Ⅰ
	RCM280J	教会音楽Ⅷ（ギターレッスン2）			
	RCM380J	教会音楽Ⅷ（ギターレッスン3）			
	RCM480J	教会音楽Ⅷ（ギターレッスン4）			
実践	SPT450J	実践神学Ⅴ（礼拝学）	2		
指定科目・選択科目 単位数 計			12	4	
単位数 計			16		

※Ⅰ 選択科目（4単位）は、同一科目レッスン2カ年修得すること。

東京基督教大学で発行される社会福祉主事任用資格の概要

(1) 社会福祉主事任用資格とは

この資格は福祉事務所の現業員として任用される者に要求される資格(任用資格)です。したがって卒業と同時に社会福祉主事と呼ばれるのではなく、福祉事務所の現業員になったときに、はじめて社会福祉主事と呼ばれるのです。

この資格を取得すれば生活保護法、児童福祉法、母子及び寡婦福祉法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、老人福祉法、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、障害者自立支援法などの福祉に関する相談、指導、援助の業務に従事する職員の資格基準などに準用されます。

(2) 本学における任用資格取得要件

当資格の取得要件は、社会福祉法 19 条 1 項に基づき「大学において厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目を修めて卒業した者」となっています。したがって本学においては下記の学生が取得できます。

下記の 1～2 の条件を満たす者

1. 社会福祉主事養成科目(※)3 科目以上の履修・単位取得
2. 実習 A (福祉) または実習 A (キャリア) の単位取得

※ 社会福祉主事養成科目

厚労省指定科目名	本学の科目名
社会福祉概論	キリスト教福祉 VIII (社会福祉論)
介護概論	キリスト教福祉 I (介護福祉)
保育理論	社会科学 I (保育学)
心理学	社会科学 III (心理学 I) 、社会科学 IV (心理学 II)
精神障害者保健福祉論	キリスト教福祉 X (精神保健福祉論)

注意) 科目が「〇〇 I」、「〇〇 II」と続きがある場合は両方を履修する必要があります。

編入生は単位認定が可能な場合があります。早めに教務部に相談してください。

(3) 卒業後の進路

社会福祉主事任用資格を取ることによって、公私にわたる福祉関係の業務に携わる場合に選定の基準として考慮される場合があります。

(4) 卒業時に学位記と一緒に証明書を発行します。

(5) 大学院生に発行することはできません。

教務部案内

連絡方法

教務部から学生全体への連絡は、原則として TCU ポータルの「教務部のお知らせ」を通して行います。こまめに TCU ポータル、E メールをチェックするよう心がけてください。また、キャンパス内の本部棟1階に学生一人一人に専用のメールボックスが整備されています。自身のメールボックスを確認、長期間にわたる書類の放置などないように心がけてください。

事務取扱い

窓口受付時間 月～金曜日 9:00～11:20 ※11:20-12:50は、チャペル及びお昼体制
12:50～16:45 ※授業日は18:10まで緊急対応あり

取扱い事項

- 授業・時間割に関すること
- 履修登録に関すること
- 試験及び学業成績に関すること
- 入学・休学・退学・卒業等学籍に関すること
- 証明書（和文・英文）の発行

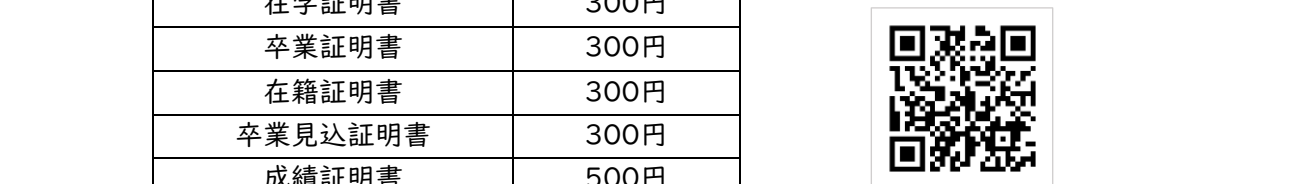
証明書は教務部窓口にある所定の申請書、または[申請フォーム](#)から申し込んでください。

種 類	料 金
在学証明書	300円
卒業証明書	300円
在籍証明書	300円
卒業見込証明書	300円
成績証明書	500円
その他の証明書	500円

申請フォーム



種 類	料 金	申請フォーム
-----	-----	--------



※卒業見込証明書は学部4年次より発行可能です。

※当日発行は、料金が倍になります。

オフィスアワー制度

オフィスアワーとは、専任教員が原則として週1回（60分程度）研究室等において待機し、学生からの自由な質問や相談等を受けつける時間帯のことを指します。各教員のオフィスアワーについての情報はTCUポータルで確認してください。

授 業

学 期

本学の授業は1年を3学期に分けて行います。各学期の授業開始日等については、TCUポータルにある学年暦を参照してください。

授業時間

通常1科目の授業は、毎週1コマ(70分×2)、1学期につき10回です。授業によっては1週間に70分を2回もしくは3回行われることがあります。

1 時 限	2 時 限	3 時 限	4 時 限	5 時 限	6 時 限
8:40 - 9:50	9:55 - 11:05	13:00 - 14:10	14:15 - 15:25	15:45 - 16:55	17:00 - 18:10

時間割

時間割表はTCUポータル上に掲載しています。教室・時間などが変更された場合、TCUポータルの「お知らせ」やEメールにてお知らせします。特に学期の始めには変更が多いので注意してください。

授業の欠席

授業科目の単位取得に必要な出席日数は、その科目の授業時間数の3分の2以上です。これに満たない場合は定期試験の受験資格またはレポート提出の資格を取得できません。授業は通常1学期に10回(20回)行いますので、7回(14回)以上出席しない場合は単位修得の資格がありません(学則第25条)。

授業を欠席する場合は、次の手続きが必要です。

- (1) TCUオンラインの受講科目ページの出欠届に入力してください。
- (2) 欠席が7日を越えるときは、保証人と連署の長期欠席届を提出しなければなりません。病気、けが等の場合は、医師の診断書を添付してください。学期中に退寮等をしなければならない場合は寮主事と相談の上、学生部にて手続きをとってください。長期欠席中は、在学扱いとなり授業料等の学納金も発生します。
- (3) 病気その他の理由により、欠席が3か月を越える場合は、医師の診断書を添付して休学を願い出ることができます。(学則第15条)
- (4) その他の欠席について
 - ① 忌引による欠席の扱いは、科目担当教員が判断します。
 - ② 就職活動による欠席の扱いは、キャリア支援室まで問い合わせてください。

休 講

大学または各授業科目の担当教員にやむを得ない事情が発生した場合には、授業を休講することがあります。休講の場合は担当教員または教務部から連絡します。休講の連絡がなく、かつ授業開始時刻から30分以上経過しても担当教員が入室しない場合は自動的に休講になり、後日、補講を行います。学生はうわさなどで判断せず、不明な場合は教務部に確認してください。

補 講

各学期の終了前に補講の週が設定されています。補講は、休講等により講義の進行が予定より遅れた際に行われます。補講は、原則授業日と同じ曜日、時間帯で行います。

聴 講

本学の正規学生が本学提供科目の聴講を希望する場合は、科目担当教員の許可を得てください。聴講科目も履修科目と同様に履修登録期間に登録を行ってください。（別途、聴講科目の確認を行います。）

なお聴講は、定期試験の受験資格またはレポート提出の資格はありませんので、成績の記録はありませんが、成績証明書などに聴講として記録されます。

教科書

教科書は各科目のシラバス、またはTCUオンラインで確認してください。

TCUオンライン>ダッシュボード>教科書一覧

教科書は原則として各自で購入してください。

【参考】 ※ TCU 生に特別割引（1 割引）で書籍販売をしてくださる書店

有限会社 恵泉書房

〒260-0021 千葉市中央区新宿2-8-2

千葉クリスチャンセンタービル2F

TEL 043-238-1224

Fax 043-247-3072

E-mail : keisen@vesta.ocn.ne.jp

メールによる注文可（tci メールからの発信を推奨）

タイトル：TCU 教科書注文 氏名

本文：氏名

学科・学年

書籍名・著者・出版社等、冊数

送付先（郵便番号、住所、電話番号）

教室の設備

- ・プロジェクターへの接続コネクター（アダプター）は、各自で用意して下さい。
- ・パソコン等を利用する際は原則充電のうえ持ち込んで下さい。
- ・机や椅子を移動させた場合は授業終了時に現状復帰して下さい。

中教室Ⅰ（TERA-Tadoku and Extensive Reading Area）の利用

中教室Ⅰ(教研棟2階)は、多読学習室としての機能があります。授業で使用していない時間帯は、以下のことに留意の上、積極的に利用ください。

- ・「持ち出し禁止」の書籍は、室内で読むこと。

- 飲食禁止。ただし蓋のある入れ物であれば飲み物は可とする。
- 使用後は、原状復帰すること。

学生による授業評価

各学期に授業に対する評価アンケートをTCUオンラインにて実施します。更に良い授業を作り上げていくためにアンケートへの協力をお願いします。

なお、アンケートの結果については教務部へお尋ねください。

履修登録

履修計画

大学での学習は、自分の興味や関心、卒業後の進路などに応じて、自主的に行なうものです。カリキュラム構成を知り、1年次から計画を立て、調整しながら学習を行なう必要があります。履修指導教員と相談しながら、「何を学びたいのか・何を身につけたいのか」をよく考え、目標に応じて1年間の履修計画を立ててください。計画を作成するにあたって、必修科目を確実に履修し、進級基準、卒業要件等を無理なく満たすように心がけてください。

履修登録

履修登録は、自らがその年度に学びを希望する科目を修得するために教務部へ届け出る手続きです。科目を履修し単位を修得するためには、履修登録を行わなければなりません。履修指導教員と相談し、その年度に履修する科目を決定し、履修登録期間内に登録の手続きを完了してください。

履修登録手続を行わない場合、大学を除籍される可能性もありますので、遺漏なく登録を行なってください。

履修登録は学生自身がWeb上にて行います。詳細は履修ガイダンス及びTCUポータル上にある「WEB履修登録ガイドライン」等で確認してください。

各学期の履修単位数モデル

春学期	秋学期	冬学期	通年	合計
10単位	10単位	10単位	4単位	34単位

履修登録の流れ

- (1) 今までの単位修得状況をTCUオンラインで確認する。
- (2) 履修ガイダンスに出席したり、履修指導教員等に履修について相談する。

履修に関する資料 TCUポータル>学生メニュー>履修関係>履修ガイダンス資料

- (3) 今年度履修する科目を決めて、[Webシラバス](#)から登録する。(聴講科目を含む。)

履修変更と履修停止

- (1) 履修登録期間を過ぎてから受講科目の変更(追加・取消)を希望する場合は、指定の期間に所定の手続きを行ってください。
- (2) 各学期の授業開始から2週間は、履修科目の取消(追加)手続をすることができます。
 - 科目の取消し(無料)
 - 科目の追加(1科目につき履修変更手数料5,000円が必要)
- (3) 各学期の第3週目に、履修停止の手続きを行うことができます。履修停止した科目は成績表に「W」と表示され、GPAには影響しません。また履修停止した科目を別の学期に改めて履修する場合は「再履修」扱いにはなりません。

(4) 通年科目や演習科目等については原則、下表のルールとします。

科目	履修登録	履修登録の追加	履修取消し	履修停止
通年科目	3月の履修登録期間	春学期の履修取消し(追加)期間 (要手数料)	秋学期の履修取消し(追加)期間 (手数料なし)	なし
演習科目 (通年開講)	3月の履修登録期間	春学期の履修取消し(追加)期間 (要手数料)	秋学期の履修取消し(追加)期間 (手数料なし)	なし
演習科目 (春・秋開講)	3月の履修登録期間	春学期の履修取消し(追加)期間 (要手数料)	秋学期の履修取消し(追加)期間 (手数料なし)	なし
演習科目 (秋・冬開講)	3月または6月の 履修登録期間	秋学期の履修取消し(追加)期間 (要手数料)	冬学期の履修取消し(追加)期間 (手数料なし)	なし
実習科目	3月、6月、10月の 履修登録期間	学生は担当教員に相談し、 担当教員から教務部へ連絡	学生は担当教員に相談し、 担当教員から教務部へ連絡	なし
卒業研究	3月の履修登録期間	春学期の履修取消し(追加)期間 (要手数料)	秋学期の履修取消し(追加)期間 (手数料なし)	冬学期の履修取消し(追加)期間 (手数料なし)
音楽レッスン	3月の履修登録期間	春学期の履修取消し(追加)期間 (手数料なし)	秋学期の履修取消し(追加)期間 (手数料なし)	冬学期の履修取消し(追加)期間 (手数料なし)
クワイア	3月の履修登録期間	春学期の履修取消し(追加)期間 (手数料なし)	秋学期の履修取消し(追加)期間 (手数料なし)	冬学期の履修取消し(追加)期間 (手数料なし)

(5) 指定期間外の変更は、原則認められません。

(6) 疾病等やむを得ないと認められる事情により授業への出席が不可能になった場合のみ、所定の書類を提出し教務部長の許可を受けた授業科目については履修停止手続締切以降でも履修停止とすることができます。

履修制限

(1) 同一時限に複数の科目を履修することはできません。

(2) キャップ制度（履修単位数の上限）

前年度 GPA	評価	上限(学期)	上限(年間)	備考
3.3 以上	B+(89-87) 平均	14 単位	48 単位	通年：CLF(4 単位)、 実習等(2 単位)
2.3 以上-3.3 未満	B-～B	12 単位	42 単位	通年：CLF(4 単位)、 実習等(2 単位)
2.3 未満	C+(79-77) 平均	10 単位	34 単位	通年：CLF(4 単位)

※ CLF：クリスチャンライフフォーメーション

(3) ミニマム制度（履修単位数の下限）

- ① 1～3 年次の年間履修単位の下限は18単位です(通年科目の単位は含みません)。継続的な履修を行なうために、この下限を超えるよう履修登録し、単位を修得しなければなりません。
- ② 各学期の習得単位数6単位未満の学生には警告が出されます。但し、休学の学期はカウントしません。

1 回目の警告（習得単位数6単位未満）

履修指導担当教員または学習支援担当教職員が本人と面談します。教務部長または教務部長

補佐が必要と判断した場合は、保護者または保証人との面談を実施します。

2回目の警告（2学期連続習得単位数6単位未満）：

教務部長から書面で本人に成績不振の状況を通知し、教務部長または教務部長補佐が本人と面談します。教務部長または教務部長補佐が必要と判断した場合は、保護者または保証人への通知、面談を実施します。

3回目の警告（3学期連続習得単位数6単位未満）：

学部長が本人及び保護者または保証人と面談し、学修継続の意思があるか本人に確認します。意思がないと判断された場合は、教授会の議を経て、退学を勧告します。

4回目の警告（4学期連続習得単位数6単位未満）：

教授会の議を経て、退学処分を行います。（東京基督教大学 学則第51条により）

③ 4年次生に対してはこの制度は適用されません。

インディペンデントスタディ

既設の科目で扱われていないテーマについて、指導教員(原則専任教員)のもとで学生が主体的に学び、単位を取得する制度です。単位を取得しない聴講はできません。

インディペンデントスタディを希望する学生は、原則、履修希望学期の開始3ヶ月前までに指導教員に相談してください。指導教員が許可し、大学が承認した場合のみ開講されます。

開講が承認された場合、学生は履修登録期間に履修登録し、1単位20,000円、2単位以上40,000円の履修料を納入してください。複数の学生が同一のインディペンデントスタディ科目を履修する場合、履修料は一人あたり定められた金額を納入します。

試験と成績

<不正行為についての警告>

試験におけるカンニング・ペーパー、他者の答案その他の利用が不正行為であるのは言うまでもありません。更にレポート作成において、本、論文などの出版物、インターネット上の文書、他者のレポートなど自分以外ものが書いたものを、自分の作であるかのごとく書き提出すること(剽窃)も明らかな不正行為です。不正行為が行われることを知りつつ自分のレポートを貸す者も処分の対象となります。

本学は、キリスト教信仰に基づき、諸教会の信頼のもと学生の教育のために全力を尽くしており、レポート課題・試験等で不正行為があった場合には厳重に対処します。

試験の種類

平常試験：担当教員によって随時授業時間内に行ないます。

定期試験：各学期末の定められた1週間に行われます。レポート等の場合もあります。

レポート試験の提出期限、提出場所等は教員からの指示を受けてください。

追 試 験：定期試験を受験できなかった者のうち、条件を満たす者を対象に実施します。

(2024年度より再試験制度廃止)

追試験

対 象：病気(要診断書)、三親等内の親族(三親等の姻族を除く)の死去、電車遅延(要証明書)、災害、就職試験、裁判員制度等により、定期試験を受験できなかった学生で希望する者。

申 請：原則、試験日またはレポート提出期限の翌日までに申請書を提出します。

(申請書はTCUポータルからダウンロードし、メール等で提出)

病気の場合は、後日診断書を提出します。

試験日・レポート提出期限：担当教員の指示に従ってください

成 績：追試験の得点は、答案採点の7割とします。ただし、科目担当教員が特別に認めた場合は10割とします。

受 験 料：1科目につき 1,000円 (レポートの場合も同じ)

成 績

(1) 成績評価は原則として100点満点で行い、以下の基準により判定し合格の場合にのみ単位が与えられます。

①担当教員が行う評価

	評点	評価
合格	100-95	A
	94-90	A-
	89-87	B+
	86-83	B
	82-80	B-
	79-77	C+
	76-73	C
	72-70	C-
	69-65	D+
	64-60	D
不合格	59-0	F

②大学で行う作業

	単位認定	履修停止	再履修	聴講
評 点	-	-	-	-
評 価	T	W	R	AU

(2) 履修登録された科目は、すべて成績表に記載されます。

(3) 追試験等の理由により評価が「I」(保留)の科目については、追試験等に合格した場合にA～Dまでの評価がつけられます。不合格の場合は、評価「F」となります。

(4) 以下の科目については、「P」(合格)又は「NP」(不合格)で評価を行います。

- ・クリスチャン・ライフ・フォーメーション
- ・卒業研究

(5) 他の大学、短期大学等で履修した科目、TOFEL、TOEIC、日本語能力試験などを本学の単位として認定する場合は、授業科目及び科目区分毎に単位のための認定とし、「T」(認定)と表示します。

(6) 定められた登録停止期限までに手続き(履修停止願届提出)を行った科目については「W」(履修停止)と表示します。

(7) 再履修した科目は、最高評価を採用し、最高評価以外の同一科目の成績表示は「R」(再履修)とします。

(8) 聴講した科目は、「AU」(聴講)と表示します。

成績の公開

成績は年3回、学期終了後2週間程度からTCUオンラインで確認できます。(成績公開日は履修カレンダー参照)

成績調査願い

通知された成績の見直しを求める場合は、成績調査申請期間に、指定の方法で教務部まで申請してください。（履修カレンダー参照）

G P A (Grade Point Average)

(1) 各学期に、全履修科目の単位当たりの成績の平均値(Grade Point Average)(以下「G P A」)を表示し、以下の計算式によって算出します。

$$G P A = \frac{[(\text{科目の単位数}) \times (\text{その科目で得たグレードポイント})] \text{の総和}}{\text{登録科目総単位数}}$$

(2) 科目ごとのグレードポイントは下記の通りです。ただし「P」(合格)、「NP」(不合格)、「T」(認定)、「W」(履修停止)、「R」(再履修)、「I」(保留)は、G P A評価の対象としません。

成績評価 (100点満点)	成績表示	1単位あたりの グレードポイント
100-95	A	4.00
94-90	A-	3.70
89-87	B+	3.30
86-83	B	3.00
82-80	B-	2.70
79-77	C+	2.30
76-73	C	2.00
72-70	C-	1.70
69-65	D+	1.30
64-60	D	1.00
59-0	F	0.00
	P/NP/T/W/R/AU/I	- (カウントしない)

特別表彰（優秀成績賞・優秀卒業研究賞）

神学部のある学期間を通じ、学業成績に優秀なる者については卒業の際、次の基準で表彰します。

成績基準（目安）

	ポイント数(満点4)
<i>Summa Cum Laude</i> （最優秀成績賞）	4.00～3.80
<i>Magna Cum Laude</i> （準最優秀成績賞）	3.79～3.70
<i>Cum Laude</i> （優秀成績賞）	3.69～3.50

ただし本学での単位修得数が94単位未満の場合は、Cum Laudeの表彰対象外です。また、卒業年度において卒業研究を行った者のうち、特に優秀なものについては、大学教授会の承認のもと、優秀卒業研究賞が贈られます。

学習支援

GPA が1.70 未満の学生を対象に、学生の基礎学力や学習意欲、学習方法の向上を目的として、通常授業外に学習支援を行います。

- (1) 前学期の GPA が1.70 未満だった学生は、次の学期に学習支援チュータリングを受けなければなりません（必修）。
- (2) 対象学生には学期開始時に教務部より連絡があります。
- (3) 学習支援チュータリング対象者の GPA が 1.70 以上になった場合、次の学期は対象から除外されます。
- (4) 学習支援チュータリング対象となった学期の履修科目数の上限は、原則として5科目となります。
- (5) 学習支援チュータリングは、卒業要件を満たす単位としては認められません。
- (6) 学習支援チュータリング対象者からは学期あたり15,000円のチュータリング費が徴収されます。
- (7) 50歳以上の学生は対象としません。

再履修

再履修とは、成績評価を受けた科目を再度履修することです。

再履修を希望する場合、履修登録期間に指定のフォームから教務部へ連絡し、再履修科目登録料(5,000円)を納入してください。

合格の成績評価を受けた科目でも、再履修することもできます。再履修した科目は、最高評価を採用し、最高評価以外の同一科目の成績表示は「R」(再履修)とします。

同一科目を再受講する以下の場合も履修登録期間に指定フォームから教務部への連絡は必要ですが、再履修科目登録料は不要です。

- ・過去に履修停止した科目を履修または聴講する。
- ・過去に聴講した科目を履修する。
- ・過去に履修した科目を聴講する。

単 位

単位制度と科目の種類

本学の科目はすべて単位制です。単位数は科目によって異なります。指定された期間に履修登録した科目の授業を受け、かつ所定の試験に合格すると、その科目に与えられている単位を修得できます。（学則第25条）。

授業科目は、「必修科目」、「選択科目」、「自由科目」があります。（学則第23条）

必修科目	本学で必ず修得すべき科目
選択科目	必修科目以外の提供科目のうち卒業要件単位数にカウントされる科目
自由科目	卒業要件単位数にカウントされない科目

単位の基準

授業科目の単位数は、1単位の履修時間を教室内(授業)および教室外(自習)を合わせて 45 時間とし、次の基準で計算されます。（学則第24条）

区 分	単位計算の基準	
	教室内の学習時間	教室外の学習時間
講義・演習	1 週 1 時間の授業 × 15 週 = 1 単位	1 時間の授業に対し、2 時間
実習・実技	1 週 2 時間の授業 × 15 週 = 1 単位	2 時間の授業に対し、1 時間

卒業要件と学籍

修業年限と在学期間

修業年限とは、本学の教育課程を修了するために必要な期間です。在学期間とは、本学において学生の身分を有することが可能な期間です。本学の修業年限は4年、在学期間は8年です（学則第5条）。休学期間は在学年数に算定されません。編入学生の在学期間は、編入の許可された年次から卒業するまでの修業年限の2倍までです。

卒業要件

所定在学年数

本学を卒業するためには、本学に4年以上在学しなければなりません(休学期間等を除く)。

所定単位の履修

所定在学年数の間に学科・専攻ごとに定められた所定の科目を履修し、修得単位の合計が卒業要件を満たした者に対して卒業の資格が与えられます（学則第29条）。卒業に必要な所定の単位については、本学カリキュラム別表等を参照してください。

早期卒業

本学では、大学学則第5条第3項の規定に基づき、早期卒業が認められています。認められる条件は以下の通りです。

早期卒業を希望する者は、教務部までお問い合わせください。

1. 本学に3年以上在学すること
2. 卒業要件を満たすこと
3. 優秀な成績^(※)をもって修得したと認められること
4. 卒業後に本学大学院を進学すること
5. 再入学、転入学又は編入学ではないこと

(※) 優秀な成績の基準

時 点	基準（単位数及びGPA）	
卒業1年前	修得80単位以上	GPA3.20以上
卒業	卒業要件124単位以	GPA3.35以上

学 位

本学神学部卒業要件を満たした者には卒業証書が授与され、学士の称号が与えられます。（学位規則第2条）

	日	英
学位(専攻分野)	学士(神学)	Bachelor of Arts

進級と専攻選択

本学では学年制と単位制を併用し、2年次終了時に進級判定を行います。また同時に、5つの主専攻の決定も行われます。

2年次から3年次への進級の条件は以下の通りです。

1. GPA: 1.3 以上 (素点平均 65)
2. 取得単位数: 50

なお、GPAが1.3未満で取得単位数が50以上ある学生に関しては、特別学習支援クラスへの登録を条件に、学務会議の議を経て進級を認めることができます。

留 年

留年とは、なんらかの理由によって同一学年を繰り返すことです。

休学した学生は、復学後、原級にとどまります。

休 学

病気その他やむを得ない理由により、3か月以上修学できないときは、学期単位で休学することができます。(学則第15条)

(1) 休学の手続き

休学を希望するときは、所定の休学願いにその理由を付し、保証人が連署して提出しなければなりません。病気の場合は医師の診断書が必要です。

なお、事前に寮主事、担任、学生部長のアドバイスを受けてください。

(2) 休学願提出期限

春学期の休学願	2月末日まで
秋学期の休学願	6月末日まで
冬学期の休学願	10月末日まで

(3) 休学者の学費

休学期間中の学費は、授業料の10分の1になります。施設費等は徴収しません。ただし、学期の途中で休学した場合は、その学期の授業料は全額徴収します(学則第34条)。詳細は総務部学納金担当までお問い合わせください。

(4) 休学の期間

休学の期間は休学の許可を受けた日、または命ぜられた日からその学年の最終日となる3月31日までです。ただし特別の理由があるときは、再休学の手続きをし、許可を受けて引き続き1年間休学をするか、修学の見込みの立たないときは、退学届けを提出しなければなりません(学則第16条)。年度内にいずれの手続きも取らない場合は除籍されますので、必ず3月中に教務部まで相談してください。休学の期間は継続して2年を超えることはできません。また休学期間は通算して3年を超えることはできません。休学期間は在学期間に算入しません。

(5) 休学許可の取消し

休学の理由が、休学した日から3か月以内において消滅したときは、保証人が連署した休学許可取消願いを提出して、休学許可の取消しを受けることができます。

復 学

休学期間内に休学理由が解消した場合は、学年の始め、または学期の始めに復学することができます(学則第17条)。

- (1) 復学を希望するときは、復学願および復学に要する学費等の払込領収書を添えて、教務部に提出してください。
- (2) 復学に要する学費等および履修方法等については教務部で確認してください。

退学・除籍

- (1) 退学（学則第18条）
病気その他の理由により、退学しようとするときは、保証人連署の退学届に所定の学費等の領収書を添えて提出してください。
- (2) 除籍（学則第21条）
- ① 履修届を提出しない者、その他本学において修学の意志がないと認められる者は、指定された期限の翌日に自動的に除籍されます。
 - ② 督促を受けた滞納学費等を指定された期限までに全納しない者は、指定された期限の翌日に自動的に除籍されます。
 - ③ 休学中の者が、定められた休学の期間を超えても、復学または休学延長の手続きをとらない場合は、休学の終了する日に自動的に除籍されます。
 - ④ 在学できる年数を越える者は、在学できる最終学年の3月31日に自動的に除籍されます。
- (3) 除籍の取り消し
上記(2)①②③の理由で除籍された者が、引き続き学業の継続を希望するときは、除籍された日から2週間以内に保証人が連署した除籍取消願を提出し、許可を受けて、引き続き修学することができます。ただし学費滞納により除籍された者は、滞納学費を全納しなければ除籍取消願は許可されません。

再入学

退学後2年以内に限り再入学を願い出ることができます。再入学を希望する場合は入学年度の前年度の12月末日までに再入学願を提出して下さい。選考の上、再入学が許可されることがあります。ただし、入学してから通算8年以内に卒業が見込まれる場合に限られます。再入学の手続き、学費、履修方法等については、教務部の指示を受けてください。

器楽等レッスンの履修

このページの記載事項に該当する科目は、「教会音楽Ⅴ(オルガンレッスン)」、「教会音楽Ⅵ(ピアノレッスン)」、「教会音楽Ⅶ(声楽レッスン)」、「教会音楽Ⅷ(ギターレッスン)」です。

受講希望者は必ず、春学期はじめのオリエンテーションに参加してください。

オリエンテーションにて1年分のレッスン時間帯を決定します。各自時間割を確認して履修計画を立て、レッスンの希望時間帯を決めてから出席してください。履修希望の上級学年の学生からレッスン時間を決定し、そのあとで聴講希望者のレッスン時間を決定します。希望者が多い場合は受講できない場合があります。

オリエンテーションに参加しないとレッスン受講はできません。

履修と聴講

履 修：各レッスンは通年で2単位です。履修登録し成績がつきます。

聴 講：学期毎にレッスンを受講することです。単位は取れません。

*履修と聴講でレッスンの内容は変わりませんが、レッスン料等が異なります。

受講資格

[オルガン・ピアノ] 初心者可、ただし鍵盤経験者が望ましい
[声楽・ギター] 受講資格を設けない

レッスン時間

[オルガン・ピアノ] 1回20分(各学期8回、年間24回)

[ギター] 1回40分(オンライン、各学期4回、年間12回)

[声楽] オリエンテーションで説明(年間の総時間数は他の楽器と同じ)

レッスン料

レッスン受講には、レッスン料と楽器使用料等がかかります(全受講生)。

	レッスン料 (共通)	楽器使用料		レッスン棟使用料
		オルガン	ピアノ	
履修(年額)	45,000円*	12,000円	6,000円	4,500円
履修(韓国異文化実習生)	30,000円	8,000円	4,000円	3,000円
聴講(1学期)	16,800円	5,000円	3,000円	1,500円

*途中でレッスン受講ができなくなった場合もレッスン料と楽器使用料等は返金しません。

*ピアノと声楽・ギターを受講する場合、楽器使用料はピアノのみ。練習室使用料は不要。

*声楽とギターを受講する場合、練習室使用料は1つのみ。

レッスン料と楽器使用料等は以下の口座へお振込みください。

ゆうちょダイレクト又はゆうちょ ATM から	ゆうちょ銀行以外の金融機関から
銀行名：ゆうちょ銀行 口座番号：00180-9-352711 口座名義：学校法人東京キリスト教学園	銀行名：ゆうちょ銀行 支店名：〇一九（ゼロイチキュウ）店 口座種別：当座 口座番号：0352711 口座名義：学校法人東京キリスト教学園

レッスン場所

- [オルガン] 大チャペル
- [ピアノ] レッスン棟アンサンブル室
- [声楽] レッスン棟レセプションルーム(対面)、福祉棟教室2(オンライン)
- [ギター] 寮の自室等オンラインレッスンが問題なく受けられる場所、もしくは教研棟2階中教室2

*自分のレッスン時間になったらレッスン場所に入室して構いません。

学期中の練習

練習時間 平日7:00-21:00（オルガンは学期ごとに練習時間が割り振られます。）

練習場所 [ピアノ・声楽・ギター] レッスン棟練習室

[オルガン] 大チャペル、オルガンハウスのパイプオルガン

*初めてオルガンレッスンを取る学期はオルガンハウスでの練習となり大チャペルでは練習できません。

*レッスン棟練習室、大チャペル、オルガンハウスは飲食禁止です。

*大学行事や施設貸出等で利用できない場合があります。掲示に注意して下さい。

*土曜、日曜、祝日は使用できません。

長期休暇中の音楽施設利用

レッスン受講のための楽器使用料等には長期休暇中の音楽施設利用は含まれません。夏期・春季休暇中は楽器貸出期間が設定され、事前に総務部に申込みの上、有料で利用できます。

レッスン受講上の注意

- ・必ず練習してレッスンを受講すること。
- ・無断遅刻・欠席は厳禁です。遅刻・欠席をする場合は、必ず事前に担当教員に連絡して下さい。

履修取消

春学期にレッスンを履修登録し秋学期以降に履修できなくなった場合の扱いは以下のとおりです。手続き後に聴講しない場合も、レッスン料等は返金しません。

秋学期から：履修取消(追加)期間に履修取消手続きをする。

秋学期・冬学期に聴講する場合は追加で差額を支払う。

冬学期から：履修停止期間に履修停止手続きをする。(成績表に「W」がつく)

冬学期に聴講する場合は追加で差額を支払う。

単位認定

入学前の既修得単位の認定

編入学生等、本学入学以前に大学、短期大学、高等専門学校、専修学校専門課程等で学んでいた学生は、単位認定を受けることができます。単位を認定された科目は、成績表に「Ｔ」と表現されます。

- (1) 編入学生には入学後に単位認定科目を通知しますので、それを参考にしながら履修計画を立ててください。
- (2) 1年次入学者で、以前短期大学等に在学しており、その科目の単位認定を希望する者は、短大等の成績証明書を、**春学期の授業開始前に**教務部に提出して相談してください（入学試験の時にすでに提出している場合は必要ありません）。
- (3) 1年次入学者で、以前専修学校に在学していた場合、単位認定を許可されることがあります。希望する場合は**春学期の授業開始前に**教務部に相談してください。
- (4) 単位認定を受けられる単位数の上限は60単位です。（学則27～28条の2）。また、本学の授業科目の区分ごとに定めた卒業要件を超える場合は、超える科目の単位は認定しません。
- (5) 入学前の既修得単位の認定は、原則として**本学への（編）入学時に1度だけ行ないます**。希望する学生は春の履修登録期間中に教務部までご相談ください。その時期を過ぎた場合、原則として入学前既修得単位の認定は行いません。

言語科目の単位認定

教務部と担当言語科目教員の承認を得て、次の基準で言語科目の免除・単位認定を受けることができる。

<春入学生>

スコア	スコア 提出時 期	履修免除科目名(単位数)		認定 単位数	単位認定条件
TOEIC:650 TOEFL iBT®:64 GTEC LR:260	入学時	LEN111J LEN112J LEN113J	Total English A 1 (4) Total English A 2 (4) Total English A 3 (1)	9 単位 (最大)	3年次に進級する前に、教授言語が英語の科目より 2単位 取得すること。 (ただし科目区分「言語、日本語」の科目を除く)
TOEIC:650 TOEFL iBT®:64 GTEC LR:260	春学期 終了時	LEN112J LEN113J	Total English A 2 (4) Total English A 3 (1)	5 単位	

- TOEFL、TOEIC スコアは提出日から 2 年以内のもののみ有効。TOEFL iBT®は Test Date スコアに加え、MyBest™スコアも有効。なお GTEC のスコアについては、本学で実施したもののみ有効。
- 入学後に TOEFL を受験する場合、受験時に TCU の学校コード 8472 を入力すること。
- スコアレポートは各種テストセンターから TCU へ直接送付されるようにすること (GTEC 除く)。
- 入学前教育の GTEC の結果により Total English 1、2、3 の全て又は一部の履修を免除された場合、単位は認定しない。
- 英語が母語で、英語圏で高等学校以上の教育課程を修めている場合、卒業の証明書の提出をもって Total English 1、2、3 の 9 単位分を免除とし、単位認定はしない。
- 上記の基準以外で、海外の大学で履修した英語科目の単位認定を希望する場合、履修登録前に担当英語教員と教務部に相談すること。
- スコアを提出するまでは免除・単位認定を希望する学生は各授業を履修しなければならない。

<秋入学生>

スコア	スコア 提出時 期目安	履修免除科目名(単位数)		認定 単位数	単位認定条件
日本語能力試験 N4(N3, N2, N1)	入学時	LJA110-130E LJA210-230E	Elementary Japanese 1-3 (12) Intermediate Japanese 1-3 (12)	12 単位 (最大)	教授言語が英語の科目で科目区分「言語、日本語」の科目より 12 単位 (Advanced Japanese、日本語多読等。 教授言語が日本語の科目も履修可。)
日本語能力試験 N5	入学時	LJA110-130E	Elementary Japanese 1-3 (12)	6 単位	教授言語が英語の科目で科目区分「言語、日本語」の科目より 6 単位 なお Intermediate Japanese (12 単位)は必ず履修すること。
日本語能力試験 N4(N3, N2, N1)	1 年目 春学期 終了時	LJA210-230E	Intermediate Japanese 1-3 (12)	6 単位	教授言語が英語の科目より科目区分「言語、日本語」科目より 6 単位

- スコアレポートは日本語能力試験テストセンターより TCU に直接送付されるように手続きすること。
- 入学後の日本語プレースメント試験の結果により LJA110-230E の全て又は一部の履修を免除された場合、単位は認定しない。

留学制度

TCU は米国のバイオラ大学 (*BIOLA University*) と協定校提携を結んでいます。バイオラ大学は北米最初の福音主義高等教育機関のひとつで、米国ロサンゼルス地区に位置しています。信仰基準、理事、教員、学生は全て福音主義に根ざしており、6,000名以上の学生が在籍しています。大学学部、大学院修士課程および博士課程を持ち、宣教師教育の長い伝統を持つ超教派の大学です。

TCU-Biola ダブルディグリー制度

TCU の学生が、TCU で3年、バイオラ大学で2年を修了する事により両大学の学位を取得することができる制度です。基本的には TCU で一般教養教育科目を、バイオラ大学で専門科目を取得します。ただし TCU の専門科目はバイオラ大学では一般教養教育科目として数えられる場合があります。また、卒業に要する5年の期間は学生の英語力及びバイオラ大学の必修科目開講状況によって長くなることもあります。

モデルケース 1		モデルケース 2	
入学～3 年目春学期	TCU	入学～2 年目春学期	
3 年目夏～5 年目春学期	Biola	2 年目夏～4 年目春学期	
5 年目秋学期～冬学期	TCU	4 年目秋学期～5 年目冬学期	

<募集人数> 2年ごとに1名

<推薦要件>

モデルケース1の場合

1 年次6月末までに TOEFL57点(iBT)以上を提出して本制度参加の許可を受け、2 年次10月末までに GPA3.00以上及び TOEFL79-80(iBT)以上を取得し、教授会が推薦に値すると認めた者。

モデルケース2の場合

1 年次6月末までに TOEFL68点(iBT)以上を提出して本制度参加の許可を受け、1 年次10月末までに GPA3.00以上及び TOEFL79-80(iBT)以上を取得し、教授会が推薦に値すると認めた者。

<費用>

- ・授業料：TCU の授業料・施設費を TCU に納入
- ・寮費：バイオラ大学に納入 参考 (\$5,666-\$6,854：入る寮によって異なる)
- ・食費：バイオラ大学に納入 参考 (\$4,258-\$6,088：Meal Plan によって異なる)
- ・各自負担：往復の航空券、米国ビザ手続費用、海外旅行保険、事故対策保険、教科書代、休暇中の滞在費、バイオラ大学で Summer Session (5月下旬～7月下旬) または Interterm (1 月) を受講する際の授業料、寮費、食費等

*寮費と食費の金額は2023-2024年度のバイオラ大学学納金

<学内担当窓口>

教務部：長根山

短期交換留学制度

TCU 在籍中に1学期間バイオラ大学に留学する制度です。TCU が学内選考を経て学生を推薦し、バイオラ大学が最終的な受入判断を下します。

＜留学期間＞ バイオラ大学の Fall Semester (8月下旬頃～12月3週)

＜募集時期＞ 毎年2月～3月に TCU ポータルによって募集

＜応募資格＞

TCU 在学期間：1年以上

成績優秀：累計 GPA3.0 以上

英語力：

TOEFL(iBT) 55 点-62 点	
IELTS 5.0	⇒ ELP Level 1
TOEFL(iBT) 63 点-69 点	
IELTS 5.5	⇒ ELP Level 2
TOEFL(iBT) 70 点-79 点	
IELTS 6.0	⇒ Accelerated Learning Placement (ALP)*
Duolingo 105-119	
TOEFL(iBT) 80 点以上	
IELTS 6.5 点	⇒ Biola 大学の通常の授業を履修
Duolingo 120 点以上	

*ALP - 学部生対象に語学の理解を深めながら授業を履修するコース。ESL クラスを提供している。

＜募集人数＞

若干名。ただし TCU とバイオラ大学で同人数の交換となるため、留学生の受入数と派遣数に差がある場合には派遣留学生を募集しないこともあります。

＜費用＞

授業料：TCU 授業料を TCU へ納入

寮費：US\$ 2,833-\$3,427 (入る寮によって異なる。)

食費：US\$ 2,129-\$ 3,044 (Meal Plan によって異なる。)

*バイオラ大学の寮費・食費は 2023-2024 年度のバイオラ大学の学納金(Fall Semester)を参考

*その他履修デポジット、寮デポジットの費用が掛かる可能性があります。

*TCU 学納金に含まれる寮費/食費の留学期間相当分は免除される。

ビザ申請料・渡航費：各自負担

事故対策保険料 (約 10,000 円)：TCU が加入手続き。費用は TCU へ納入。

海外旅行保険料 (約 95,000 円)：TCU 指定の海外旅行保険会社。TCU が加入手続きを行い、学生は費用を TCU へ納入する。

＜単位認定＞

バイオラ大学で取得した単位は TCU の単位に振替可能です。希望する場合は、帰国後にバイオラ大学の成績証明書(Transcript)を教務課に提出し認定を受けてください。単位認定には、相当する TCU の科目の単位として振替えられる場合と単位数のみ認定される場合があります。

<履修上の注意>

TCU の冬学期の授業を 3 週間受けられなくなりますので、特別に調整します。通年科目は履修できません。

<学内担当窓口>

教務部：長根 山